

令和 3 年度
根室地域への旅行者誘客調査報告書
【概要版】

北海道開発局 開発監理部 開発連携推進課

目 次

第Ⅰ章 調査概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査の内容	3
第Ⅱ章 根室地域における周遊観光に向けた基礎調査	4
1. 日本人旅行者の動向把握調査	5
(1) 根室地域における現状整理	5
(2) 根室地域における観光動向調査	12
(3) GPSによる旅行者の移動経路等の分析	44
2. 観光コンテンツ及び交通手段の調査	48
(1) 観光コンテンツ受入状況調査	48
(2) 交通手段調査	62
第Ⅲ章 専門家等の招請による商品造成に向けた調査・検討	68
1. 専門家等の招請の企画立案・実施	69
(1) 専門家の選定にあたって	69
(2) 招請した専門家	71
(3) 招請の理由	71
(4) 視察スケジュール	72
2. 専門家等による評価	73
(1) コンテンツの評価／ターゲットの整理	73
(2) まとめ	94
(3) 地域へのフィードバック（意見交換会）	96

第Ⅳ章 効果的な情報発信手法の構築、旅行者の受入環境の整備に必要な取組のとりまとめ	97
1. 効果的な情報発信手法の構築	98
（1）ミレニアル世代の感性とインスタグラム	98
（2）インスタグラムの可能性	98
（3）女子旅目線を意識した活用方法 キーワードは“共感”	99
（4）効果的な発信にハッシュタグ	99
（5）対象地域別設計案	100
2. 旅行者の受入環境の整備	104
（1）課題の整理	104
（2）受入環境整備の方向性	105
第Ⅴ章 モニターツアー（案）の作成	106
1. モニターツアー「夏季編」	107
2. モニターツアー「冬季編」	110
第Ⅵ章 協議会等の開催	113
1. 地域協議会	114
2. 地域会議	120
第Ⅶ章 スケジュール	121
1. スケジュール	122

第 I 章 調査概要

1. 調査の目的

第 8 期北海道総合開発計画（平成 28 年 3 月 29 日閣議決定、計画期間：2016 年度から概ね 2025 年度まで）においては、『世界の北海道』を目指し、北海道の強みである「食」、「観光」を戦略的産業として位置づけており、引き続き食と観光を担う「生産空間」の維持・発展に取り組んでいくこととされている。

令和 3 年 3 月に公表された中間点検報告書においては、国内外の新たな観光需要を取り込んだ観光の活性化として、①国内の感染症の状況を見極めつつ、国内旅行とインバウンドの両輪により、オール北海道で世界水準を目指す。② 7 空港一括運営を活かし、関係者が連携した 2 次・3 次交通の強化等による観光客の地方部への分散・周遊の取組を推進。③地域資源を最大化活用した多様なメニューにより一層の充実などが重点施策として整理されたところである。また、本調査の対象地域である北方領土隣接地域は、かつて行政的にも経済的にも北方領土と一体の社会経済圏を形成して発展してきたが、北方領土問題が未解決であるため、戦後はその望ましい地域社会としての発展が阻害されてきた地域であることから、第 8 期北海道総合開発計画には当該地域の安定振興も位置づけられている。

一方、令和元年 12 月以降、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）が世界で拡大し、令和 2 年 1 月には日本国内でも感染者が確認され、北海道においては、全国に先立ち令和 2 年 2 月 28 日に北海道独自による「緊急事態宣言」、同年 4 月 12 日には北海道及び札幌市による「緊急共同宣言」を発出し、外出自粛等を呼びかけた。さらに、同年 4 月 16 日から 5 月 25 日まで「緊急事態措置を実施すべき期間」（緊急事態宣言期間）が北海道に出された。

令和 3 年度に入り、令和 3 年 5 月 16 日から 6 月 20 日、8 月 27 日から 9 月 30 日には、「緊急事態すべき措置の期間（緊急事態宣言）」、令和 4 年 1 月 27 日～3 月 21 日まで北海道では「まん延防止等重点措置」が適用された。令和 4 年 3 月末現在、2 年以上に及ぶ感染症が北海道観光に大きな影響を与えており、未だ、収束が見通せない状況であり、北海道観光の旅行者は、身体的な距離の確保、マスクに着用、手洗い等の基本的な感染対策を行いながら、3 密の回避（密集・密接・密閉）等の新しい生活様式の実践が求められている状況である。

このような背景をふまえ、本調査では、北方領土隣接地域（根室市、別海町、中標津町、標津町及び羅臼町）の観光振興を促進するため、当該地域に訪れている旅行者の動態や属性等を調査分析するとともに、観光に関する専門家を当該地域に招請することにより、観光コンテンツの魅力を高めるための取組や旅行者を受け入れる際の課題（交通環境、運用体制など）を整理し、当該地域における周遊観光と誘客促進に向けた方策を構築することを目的に調査を行うものである。

なお、本調査の実施にあたっては、地域の関係機関との連携が不可欠であることから、そのための枠組みとして、国土交通省北海道開発局が主体となって、地域行政や観光協会等の連携により、北方領土隣接地域に関する旅行者の動向把握、観光コンテンツの魅力を高めるための取組、旅行者を受け入れるための課題整理、周遊観光と誘客促進等を目的とした「北方領土隣接地域（根室地域）観光促進協議会」（事務局：北海道開発局）を令和 3 年 8 月に設置している。

2. 調査の内容

本調査における調査項目は、以下のとおりである。

① 根室地域における周遊観光に向けた基礎調査

根室地域（根室市、別海町、中標津町、標津町及び羅臼町をいう。以下、対象地域という。）において、周遊観光を促進するため、対象地域の観光地へ訪れている日本人旅行者の動態、旅行者の訪問意向が高い観光コンテンツ、及び周遊するにあたって活用可能な公共交通の調査を実施する。

② 専門家等の招請による商品造成に向けた調査・検討

観光コンテンツの磨き上げや、旅行商品の企画・開発に専門的な知識を有する専門家等を招請し、今後対象地域に旅行者を誘客する上での改善点を収集するとともに、ターゲットとなる属性を整理し、効果的に誘客する方策のとりまとめを行う。

③ 効果的な情報発信法の構築、旅行者の受入環境の手整備に必要な取組のとりまとめ

対象地域への旅行者の誘客を促進するため、効果的な情報発信手法の構築と、各観光コンテンツの旅行者の受入環境を整備する。

④ モニターツアー（案）の作成

本調査業務の基礎調査、別途北海道開発局で行うGPS 等による日本人旅行者の動態調査、及び地域の観光関係者との調整を踏まえ、対象地域の魅力ある観光コンテンツ、交通手段等を組み合わせた周遊観光の構築を目指したモニターツアー（案）を作成する。なお、冬季以外、冬季の2シーズンのモニターツアー（案）を作成する。

⑤ 協議会の運営補助等

対象地域の行政、観光関係団体等で構成された地域協議会に、学識経験者を加えるものとする。開催にあたり、受注者は議事録の作成、謝金の支払い等を行う。なお、開催回数はWEB 会議5 回程度（5 市町×1 回）、協議会WEB 会議2 回（8 月、3 月）を予定している。

第Ⅱ章 根室地域における周遊観光に 向けた基礎調査

1. 日本人旅行者の動向把握調査

(1) 根室地域における現状整理

① 観光客の入込数の推移

ア) 根室振興局管内における観光客入込客数の伸び率の推移

令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、観光需要は大きく減少した。それ以前の北海道観光入込客数の状況をみると、平成21年度の北海道観光入込客数は約13,090万人に対し、平成30年度には14,588万人となっており、11.4%の増加となっている。一方、根室振興局管内に目を向けると、平成21年度の観光入込客数は約198万人、その後最も多かった令和元年度で約195万人にとどまっており、1.8%の減少となっている。

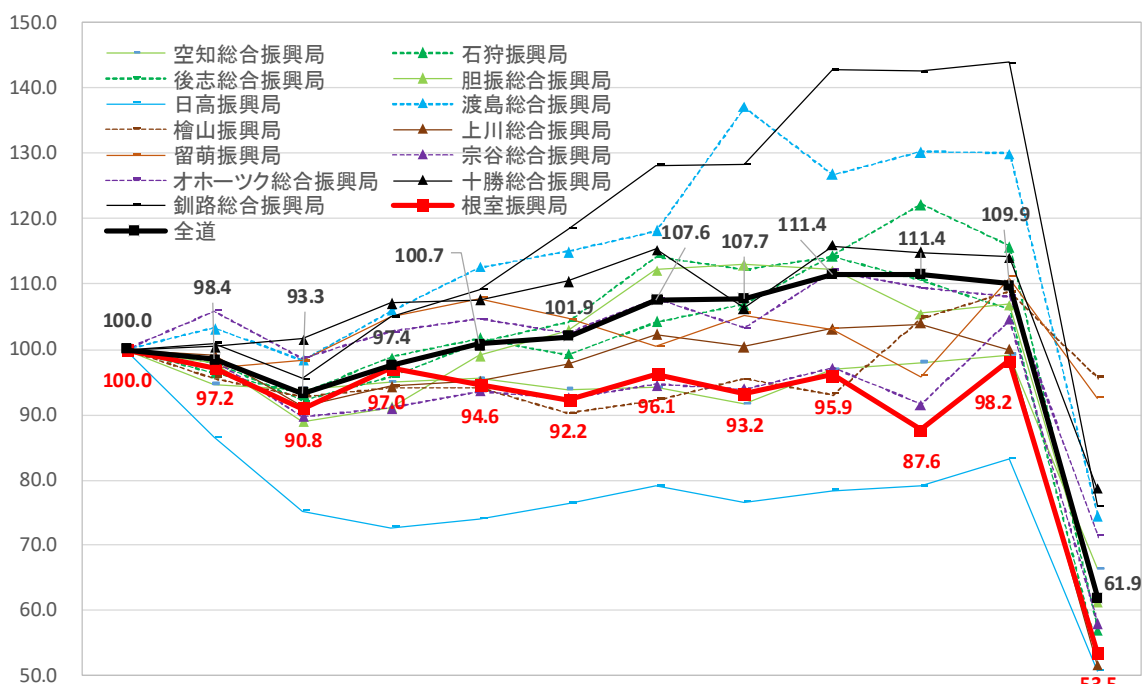
北海道全体では観光入込客数が増加傾向であったにもかかわらず、根室振興局管内ではその影響を受けることなく増加に転じなかった原因を把握することで、根室地域観光施策の今後の方向性を考える必要がある。

(次頁／図表1-1-1-1参照)

イ) 道外客・道内客及び日帰客・宿泊客伸び率の全道と根室振興局管内の比較

北海道観光入込客を道外客と道内客に分類し、平成21年度を100とした伸び率を全道と根室振興局管内で比較した。全道においては、平成23年度から平成30年度において道外客・道内客いずれにおいても概ね増加傾向となっている。一方、根室振興局管内では道外客が平成30年度を除き100を下回る結果となっている。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度を除いた平成22年度～令和元年度の伸び率の平均をみると、道外客では全道が103.9に対し、根室振興局管内は90.8、道内客では全道が104.0に対し、根室振興局管内は96.7となっている。

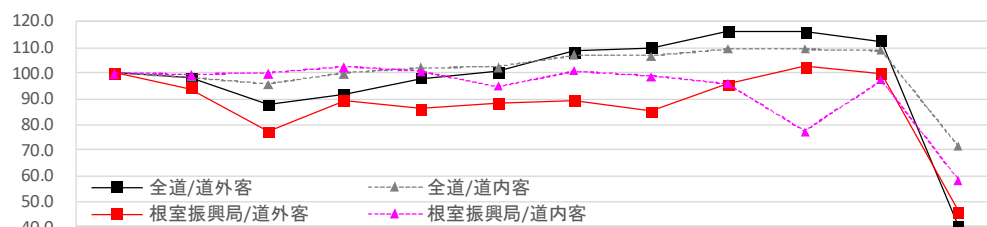
(次頁／図表1-1-1-2参照)



	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
空知総合振興局	100.0	94.5	93.7	95.0	95.4	93.7	94.2	91.5	96.8	97.9	99.1	66.3
石狩振興局	100.0	96.4	93.1	98.7	101.7	99.2	104.2	106.8	114.3	122.1	115.8	56.8
後志総合振興局	100.0	97.8	92.0	95.7	100.9	104.1	114.1	112.0	114.0	110.4	106.2	53.1
胆振総合振興局	100.0	97.9	88.8	91.1	99.1	102.7	112.1	112.9	112.1	105.4	106.8	61.5
日高振興局	100.0	86.5	75.2	72.6	74.0	76.4	79.0	76.7	78.3	78.9	83.2	50.8
渡島総合振興局	100.0	103.1	98.4	105.9	112.5	114.8	118.1	137.0	126.7	130.2	129.9	74.4
檜山振興局	100.0	95.5	92.7	94.1	94.0	90.1	92.2	95.5	93.0	104.7	108.8	95.6
上川総合振興局	100.0	99.0	91.3	94.3	95.2	97.8	102.3	100.3	103.1	103.8	100.0	51.5
留萌振興局	100.0	97.2	98.2	104.9	107.7	104.5	100.4	105.2	103.1	95.8	110.9	92.5
宗谷総合振興局	100.0	98.3	89.6	90.9	93.6	92.5	94.6	93.8	97.0	91.5	104.4	57.9
オホーツク総合振興局	100.0	105.8	98.6	102.7	104.6	102.5	107.6	103.2	111.9	109.3	108.1	71.3
十勝総合振興局	100.0	100.4	101.6	107.1	107.5	110.4	115.2	106.2	115.8	114.8	114.1	78.6
釧路総合振興局	100.0	100.8	95.4	104.9	109.0	118.3	128.2	128.2	142.7	142.4	143.8	75.9
根室振興局	100.0	97.2	90.8	97.0	94.6	92.2	96.1	93.2	95.9	87.6	98.2	53.5
全道	100.0	98.4	93.3	97.4	100.7	101.9	107.6	107.7	111.4	111.4	109.9	61.9

図表1-1-1-1 振興局別にみた観光客入込数伸び率の推移（平成21年度を100として）

資料/北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査報告書」を基に作成

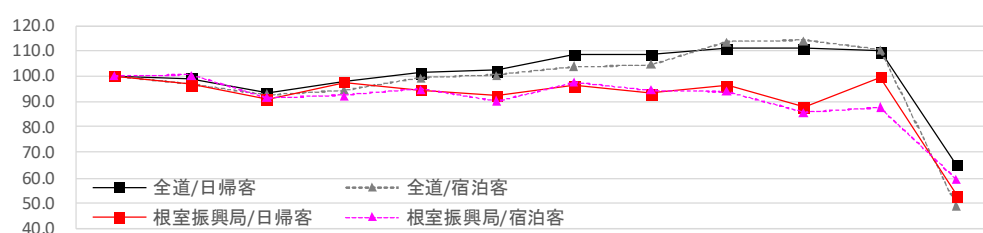


	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H22-R1平均	対全道比
全道/道外客	100.0	98.1	87.8	91.9	97.9	100.7	108.6	109.9	116.0	115.9	112.4	40.3	a)103.9	
全道/道内客	100.0	98.5	95.7	99.9	101.9	102.5	107.1	106.8	109.3	109.5	108.8	71.5	b)104.0	
根室振興局/道外客	100.0	94.2	77.3	89.3	86.0	88.4	89.4	85.4	95.8	102.3	99.7	46.4	c) 90.8	c/a)0.874
根室振興局/道内客	100.0	99.2	100.1	102.4	100.5	94.8	100.8	98.6	96.0	77.4	97.2	58.5	d) 96.7	d/b)0.930

図表1-1-1-2 道外客・道内客伸び率の全道と根室振興局管内の比較（平成21年度を100として）

資料/北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査報告書」を基に作成

同様に、日帰客と宿泊客に分類し、平成21年度を100とした伸び率を全道と根室振興局管内で比較した。全道においては、平成23年度から平成30年度において日帰客・宿泊客いずれにおいても増加傾向となっている。一方、根室振興局管内では宿泊客が平成22年度を除き100を下回る結果となっている。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度を除いた平成22年度～令和元年度の伸び率の平均をみると、日帰客では全道が104.2に対し、根室振興局管内は90.6、宿泊客では全道が102.9に対し、根室振興局管内は92.9となっている。



	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H22- R1平均	対全道比
全道/日帰客	100.0	98.7	93.4	98.1	101.0	102.3	108.4	108.5	110.9	110.9	109.8	64.9	a)104.2	
全道/宿泊客	100.0	96.9	92.8	94.6	99.1	100.2	103.8	104.4	113.3	113.9	110.4	48.8	b)102.9	
根室振興局/日帰客	100.0	96.8	90.7	97.6	94.5	92.4	95.9	93.0	96.1	87.9	99.5	52.8	c) 90.6	c/a)0.906
根室振興局/宿泊客	100.0	100.5	91.3	92.5	94.8	90.2	97.7	94.4	94.0	85.7	87.6	59.2	d) 92.9	d/b)0.902

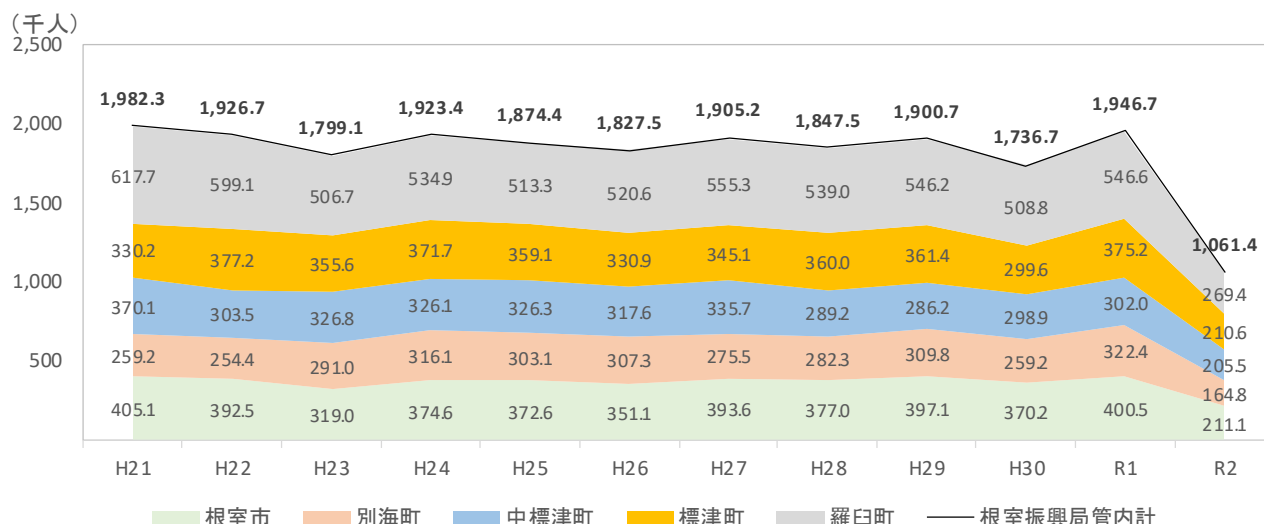
図表1-1-1-3 日帰客・宿泊客伸び率の全道と根室振興局管内の比較（平成21年度を100として）

資料/北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査報告書」を基に作成

上記の結果から、道外客・道内客、日帰客・宿泊客の伸び率においても、根室振興局管内は全道を下回り、観光客を誘引できていない状況がうかがわれる。さらに、対全道比をみると、道外客が0.874と他に比べ特に低くなっている。これらの点から、根室振興局管内が全道に比べ誘引できていない原因として、道外客・道内客、日帰客・宿泊客の全てのターゲットが伸びておらず、特に道外客の誘引ができていないことが推測される。

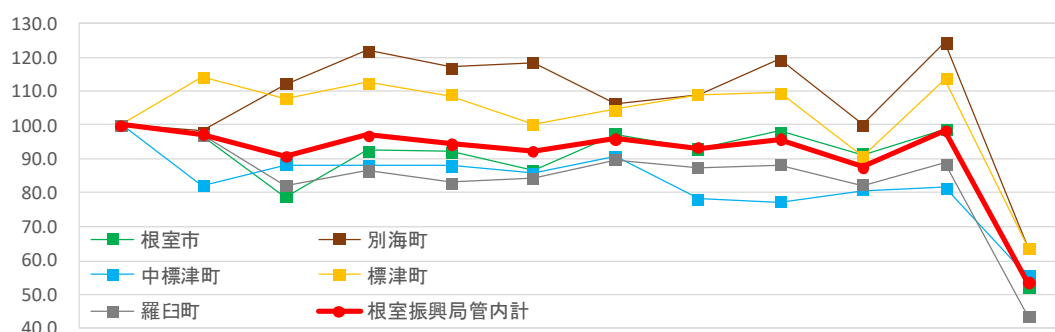
ウ) 観光客入込数・宿泊客延数の推移

根室振興局管内の観光客入込数は平成21年度で約198万人となっているが、その後観光客入込数が198万人を超える年度はなく、令和元年度の約195万人が最も多くなっている。



図表1-1-1-4 自治体別にみた観光客入込数の推移
資料/北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査報告書」

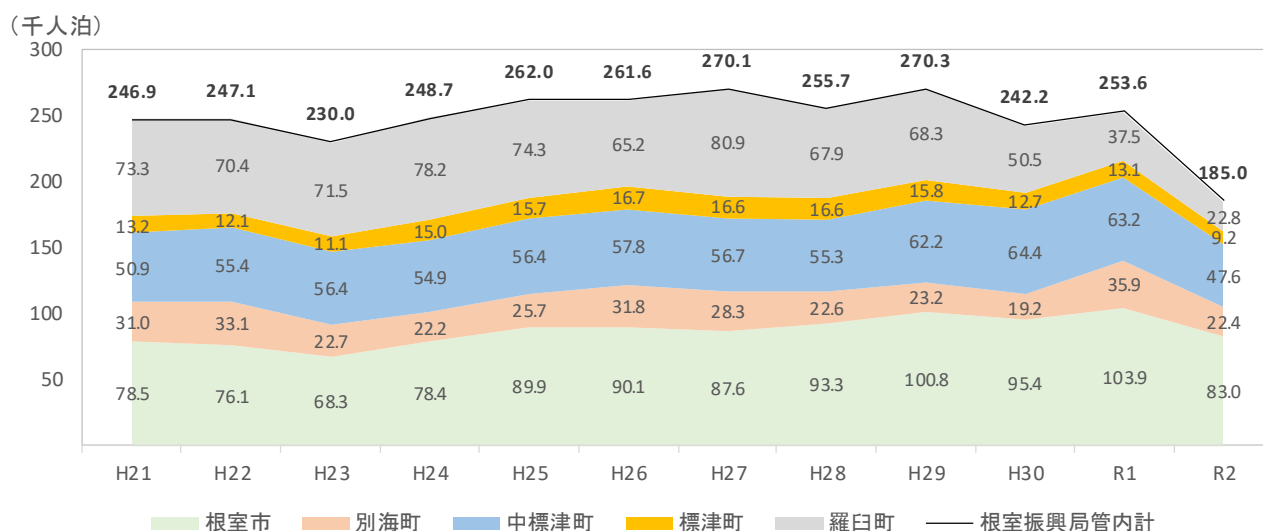
新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度を除いた平成22年度～令和元年度の観光客入込数伸び率の平均をみると、中標津町の84.1が最も低く、羅臼町で86.9、根室市で92.5となっている。平成21年度では根室振興局管内の観光客入込数の羅臼町は3割強、根室市、中標津町は2割前後を占め上位3となっている。その影響力が大きい3市町の観光客入込数の減少が、根室振興局管内の観光客入込数の伸び悩みの一因になっていることが推測される。



	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H22～R1平均
根室市	100.0	96.9	78.7	92.5	92.0	86.7	97.2	93.1	98.0	91.4	98.9	52.1	92.5
別海町	100.0	98.1	112.3	122.0	116.9	118.6	106.3	108.9	119.5	100.0	124.4	63.6	112.7
中標津町	100.0	82.0	88.3	88.1	88.2	85.8	90.7	78.1	77.3	80.8	81.6	55.5	84.1
標津町	100.0	114.2	107.7	112.6	108.8	100.2	104.5	109.0	109.4	90.7	113.6	63.8	107.1
羅臼町	100.0	97.0	82.0	86.6	83.1	84.3	89.9	87.3	88.4	82.4	88.5	43.6	86.9
根室振興局管内計	100.0	97.2	90.8	97.0	94.6	92.2	96.1	93.2	95.9	87.6	98.2	53.5	94.3

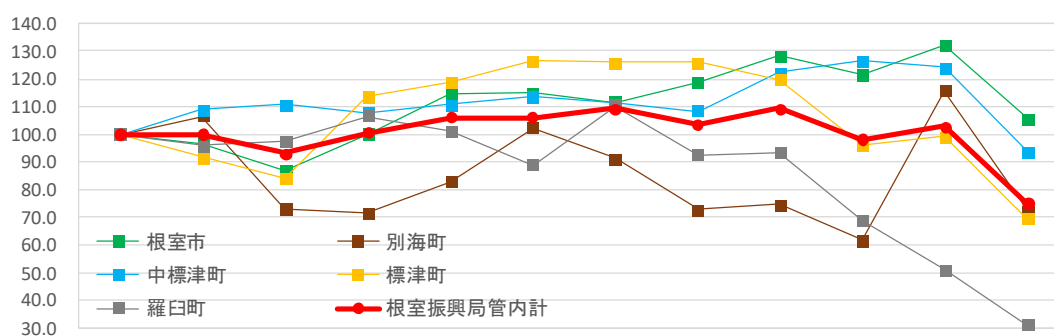
図表1-1-1-5 自治体別にみた観光客入込数伸び率の推移 (平成21年度を100として)
資料/北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査報告書」を基に作成

根室振興局管内の宿泊客延数は平成21年度で約24.7万人泊となっており、増減を繰り返しながら、平成29年度の27.03万人泊がピークとなり、その後減少傾向となっている。



図表1-1-1-6 自治体別にみた宿泊客延数の推移
資料/北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査報告書」

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度を除いた平成22年度～令和元年度の宿泊客延数伸び率の平均をみると、根室振興局管内は102.9となっており、概ね横ばい状態となっている。一方、別海町は85.4、羅臼町は90.7となっており、減少傾向となっている。平成21年度では根室振興局管内の宿泊客延数において羅臼町は約3割を占めており、観光客入込数の伸び悩みの一因になっていることが推測される。

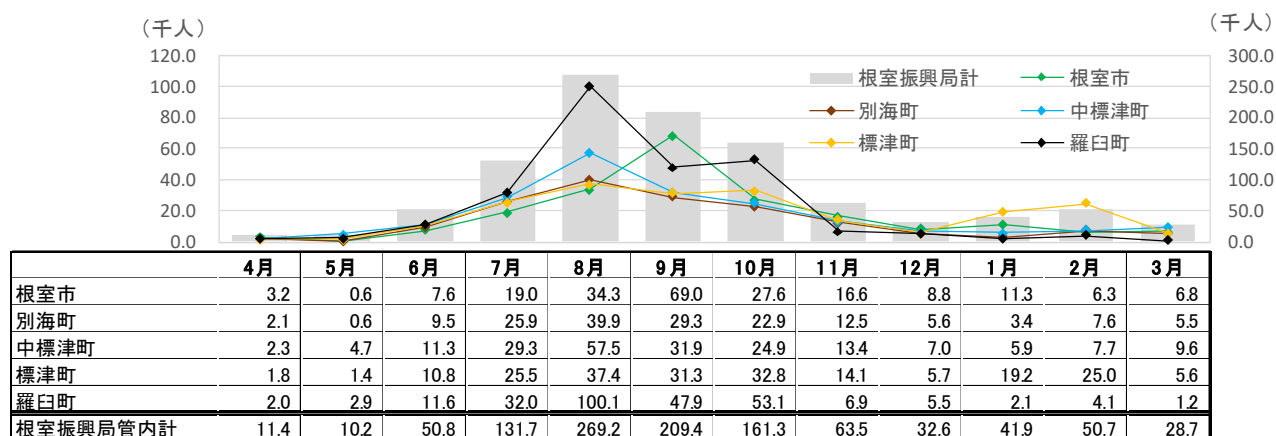


	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H22-R1平均
根室市	100.0	96.9	87.0	99.9	114.5	114.8	111.6	118.9	128.4	121.5	132.4	105.7	112.6
別海町	100.0	106.8	73.2	71.6	82.9	102.6	91.3	72.9	74.8	61.9	115.8	72.3	85.4
中標津町	100.0	108.8	110.8	107.9	110.8	113.6	111.4	108.6	122.2	126.5	124.2	93.5	114.5
標津町	100.0	91.7	84.1	113.6	118.9	126.5	125.8	125.8	119.7	96.2	99.2	69.7	110.2
羅臼町	100.0	96.0	97.5	106.7	101.4	88.9	110.4	92.6	93.2	68.9	51.2	31.1	90.7
根室振興局管内計	100.0	100.1	93.2	100.7	106.1	106.0	109.4	103.6	109.5	98.1	102.7	74.9	102.9

図表1-1-1-7 自治体別にみた宿泊客延数伸び率の推移（平成21年度を100として）
資料/北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査報告書」を基に作成

エ) 月別にみた観光客入込数の推移

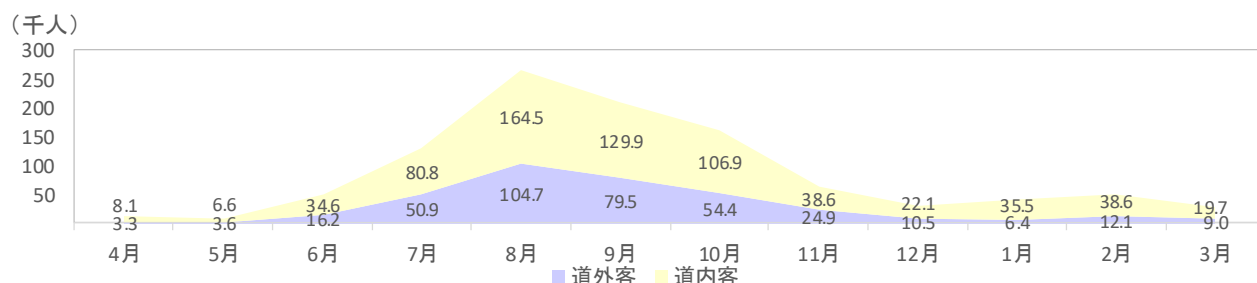
月別に各自治体の観光客入込数の推移を令和2年度の結果と比較した。根室振興局管内では8月が約26.9万人でピークとなっており、根室市以外は同様の傾向となっている。一方、根室市は9月が6.9万人で最も多くなっている。



図表1-1-1-8 月別にみた観光客入込数の推移 (令和2年度)

資料/北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査報告書」

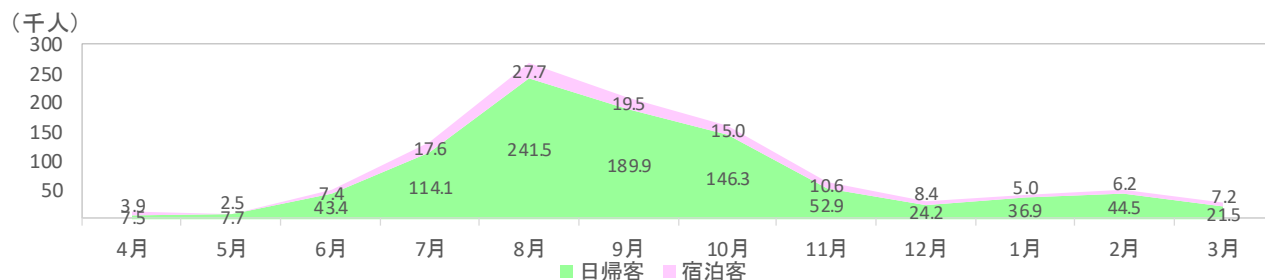
月別に根室振興局管内観光客入込数の道外客・道内客の推移をみると、8月に道外客が約16.5万人、道内客が約10.5万人で最も多くなっている。



図表1-1-1-9 月別にみた道外客・道内客の推移 (令和2年度)

資料/北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査報告書」

月別に根室振興局管内観光客入込数の日帰客・宿泊客の推移をみると、8月に日帰客が約24.2万人、宿泊客が約2.8万人で最も多くなっている。

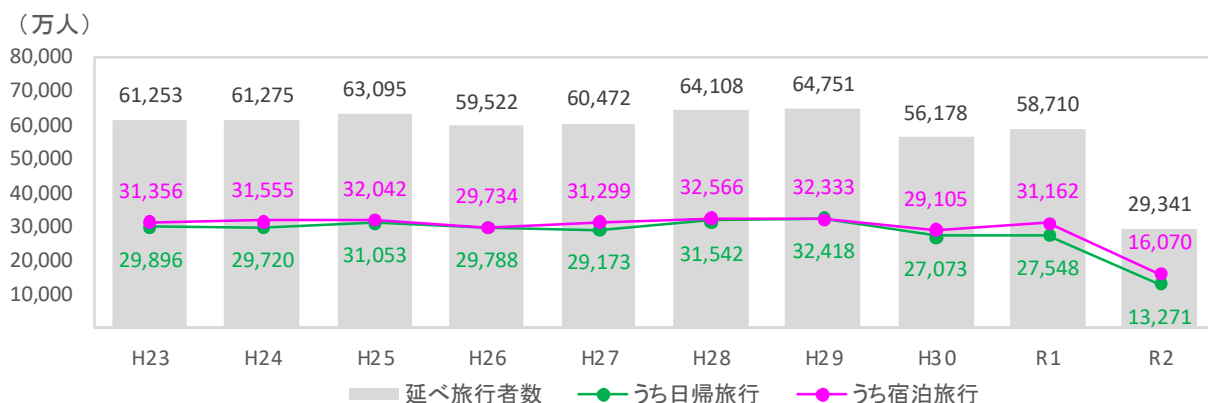


図表1-1-1-10 月別にみた日帰客・宿泊客の推移 (令和2年度)

資料/北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査報告書」

オ) 観光客入込数からみた根室振興局管内の現状と課題

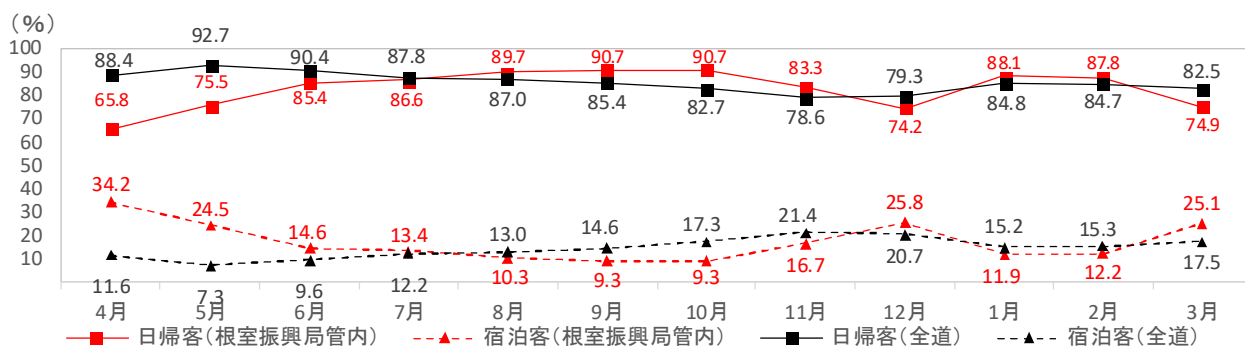
国内全体でみると、日本人国内延べ旅行者数は平成30年度、令和2年度に大きく減少している。平成30年度の減少は、7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震など自然災害が多く発生したことやインバウンド政策によるオーバーツーリズム問題、令和2年度は新型コロナウイルス感染症など外的要因が旅行者数の減少に大きく影響している。しかしながら、そのような影響を受けなかった年度においては、概ね増加傾向となっている。



図表1-1-1-11 国内旅行者の推移
資料/観光庁「旅行・観光消費動向調査2020年間値（確報）」

日本人国内延べ旅行者数の傾向と同様に、北海道全体においても観光客入込数は概ね増加傾向となっているが、一方で根室振興局管内は横ばい、微減の傾向となっている。その要因は、前段で述べた通り、道外客の誘引が上手く機能していないことが挙げられる。その背景には、誘引ポテンシャルが高い羅臼町、根室市、中標津町の3市町の観光客入込数減少、羅臼町、別海町の宿泊客延数の減少が推測される。

月別にみると、根室市は9月、その他の根室振興局管内町村は8月に観光客入込数が最も多くなっている。しかしながら、観光入込客数の多い夏場の日帰客と宿泊客が占める割合をみると、図表1-1-1-12が示すとおり、根室振興局管内の宿泊客は全道に比べ低くなっている。今後、根室振興局管内の観光入込客数を増加させるためには、夏場の宿泊客を増やす施策を講じる必要があると思われる。



図表1-1-1-12 日帰客・宿泊客割合の全道と根室振興局管内の比較
資料/北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査報告書」を基に作成

(2) 根室地域における観光動向調査

① 調査概要

ア) 目的

根室地域において周遊観光を促進するため、観光目的で訪れた観光客を対象に、旅行者の旅行目的や根室地域における周遊動向などを把握することを目的とする。

イ) 調査方法

WEB調査、現地調査、宿泊施設の3種の調査手法を用いて実施した。

a. WEB調査：インターネットモニター調査

b. 現地調査：空港、道の駅での調査員による聞き取り調査

c. 宿泊施設調査：宿泊客への留置調査

※WEB調査では旅行目的の「仕事・出張」「実家への帰省等」をスクリーニングで除外し、観光目的に限定して実施した。そのため、上記2項目は現地調査及び宿泊施設調査での回答のみとなる。

ウ) 調査対象

●WEB調査：根室地域を観光目的で訪れた登録モニター500件

2019年度夏季（2019年7～9月）に根室地域を訪れた観光客	100件
2020年度夏季（2020年7～9月）に根室地域を訪れた観光客	100件
2021年度夏季（2021年7～9月）に根室地域を訪れた観光客	100件
2019年度冬季（2019年12月～2020年2月）に根室地域を訪れた観光客	100件
2020年度冬季（2020年12月～2021年2月）に根室地域を訪れた観光客	100件
合 計	500件

●現地調査：釧路空港、道の駅スワン44ねむろ、道の駅知床・らうすを訪れた観光客

実施場所	実施日		小計
	1/8（土）	1/9（日）	
釧路空港	7	8	15
道の駅スワン44ねむろ	39	44	83
道の駅知床・らうす	12	16	28
合 計	58件	68件	126件

●宿泊施設調査：根室地域の宿泊施設に宿泊した方

宿泊施設名	件数
根室グランドホテル（根室市）	31件
ホテルねむろ海陽亭（根室市）	7件
トーヨーグランドホテル（中標津町）	18件
湯宿だいいち（中標津町）	1件
ホテル峰の湯（羅臼町）	8件
合 計	65件

エ) 調査内容

旅行目的、同行者、旅行前の情報入手先・予約手段、コロナ禍による旅先の選択の変化、体験観光コンテンツ、根室地域の訪問場所及び利用交通手段等

オ) 実施時期

- a. WEB調査：2021年12月22日（水）～2021年12月28日（火）
- b. 現地調査：2022年1月8日（土）・9日（日）
- c. 宿泊施設調査：2021年12月1日（水）～2022年2月1日（火）

カ) 集計方法等

- ・ 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現している。
- ・ 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示している。
- ・ 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数第2位以下を四捨五入し、小数第1位までを表記する。このため、全ての割合の合計が100%にならないことがある。また、複数回答（2つ以上選ぶ問）の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがある。
- ・ 表中の「0.0」は四捨五入の結果又は、回答者が皆無であることを表す。
- ・ 質問文を省略している場合がある。
- ・ グラフ及び文章中、選択肢を省略している場合がある。

② 調査票

(現地調査用)

根室地域(根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町)
における観光動向調査

調査日時：2022年 月 日 時台

調査員名： 調査地点：

現在、北海道開発局では根室地域において周遊観光を促進するため、観光目的で訪れたみなさまを対象に、旅行者の動向を把握するための調査を実施しています。貴重なお時間をいただき大変恐縮ではありますが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケートへのご協力をお願いいたします。

なお、ご記入いただいた内容は全て統計的に処理するため、個人に関する情報が漏れることはなく、本調査以外の目的で使用することはありません。本調査に関するお問合せは、北海道開発局開発管理部開発連携推進課（連絡先：011-709-2311）までお願いいたします。

【根室地域】



◆1. 今回の旅の主な目的をお答えください。(1つだけ)

1. 観光旅行
2. 仕事と観光を兼ねて
3. 仕事・出張
4. 実家への帰省
5. 友人、家族等訪問
6. 冠婚葬祭
7. その他 ()

◆2. これまでの北海道や根室地域への訪問回数と今回の泊数をお答えください。※出張や帰省を除く

北海道	訪問回数	1. 回目	2. 北海道在住
	泊数	1. 日帰り	2. 泊
根室地域	訪問回数	1. 回目	2. 根室地域在住
	泊数	1. 日帰り	2. 泊

◆3. 今回の同行者の種類をお答えください。(いくつでも)

1. 一人旅
2. 夫婦・カップル
3. 家族旅行(子供連れ)
4. その他家族(両親・姉妹など)
5. 友人・知人
6. 仕事・職場関係
7. その他 ()

→ あなたを含めて 人で訪問

◆4. 旅行前の情報入手先をお答えください。(いくつでも)

1. WEB/旅行会社
2. WEB/宿泊施設
3. WEB/観光協会
4. 宿泊予約サイト
5. 口コミ・比較サイト
6. SNS(Instagram・Twitter等)
7. 動画サイト(YouTube等)
8. ブログ
9. テレビ
10. 雑誌
11. ガイドブック
12. 友人等の口コミ
13. 地図アプリ
14. その他 ()

◆5. 旅行前の宿や移動の予約手段をお答えください。(いくつでも)

1. 旅行会社の店舗往訪(パッケージツアー)
2. 旅行会社の店舗往訪(個別手配)
3. 旅行会社のHP(パッケージツアー)
4. 宿泊施設に直接電話
5. 宿泊施設のHP
6. 旅行予約サイト
7. 交通事業者の店舗往訪
8. 交通事業者のHP
9. その他 ()

◆6. コロナ禍により、旅先の選択について変化があればお答えください。(いくつでも)

1. 移動距離の短い、自宅から近い旅先を選びたい
2. 自然や景勝地への訪問意向が強くなった
3. 屋外でのアクティビティへの関心が高まった
4. 都会への訪問意向が強くなった
5. 観光地をまわるより、宿でのんびり過ごしたくなった
6. そもそも旅行や外出への意欲が減退した
7. その他 ()
8. 特に変化はない

◆7. 普段、宿泊旅行を行う際に重視することをお答えください。(いくつでも)

1. 一か所でのんびり過ごす
2. 複数のエリアを周遊する
3. 自然やアクティビティ、アウトドアを楽しむ
4. できるだけ費用を抑える
5. 本物志向・高級感を求める
6. その日その日で行動を決める
7. その土地の文化・歴史を詳しく知りたい
8. 博物館、美術館やアートなどを楽しむ
9. テレビや雑誌で取り上げられた有名・定番の食・名所・体験をおさえたい
10. SNS(InstagramやTwitter等)などでインフルエンサーが発信したオススめを訪ねたい。またSNSで共有したい
11. イベント・祭りなどに参加し、その土地の人と触れ合い現地の日常を感じたい
12. 特に何も考えていない(同行者についていく)
13. その他 ()

◆8. 今回の旅で体験した・する観光コンテンツ、今後体験してみたい観光コンテンツをそれぞれお答えください。

観光コンテンツ	1.今回体験した・する	2.今後体験したい	観光コンテンツ	1.今回体験した・する	2.今後体験したい
カヌー	1	2	流氷ウォーク	1	2
シーカヤック	1	2	スノーシュー・氷上ソリ	1	2
ネイチャーウォッチング	1	2	地球探索鉄道 花咲線	1	2
バードウォッチング	1	2	夏の路線バス トドワラ号	1	2
ホエールウォッチング	1	2	定期観光バス のさっぷ号	1	2
トレッキング・フットパス	1	2	海産物の加工体験	1	2
サイクリング	1	2	その他 []	1	2

【裏面に続きます。】

(続き)

◆9. 観光コンテンツを予約する際、参考にする情報は何かお答えください。(いくつでも)

- | | | | |
|-------------------------|------------|---------|-------------|
| 1. 価格 | 2. アクセス・場所 | 3. 体験時間 | 4. レンタル品の情報 |
| 5. 口コミ・評価 | 6. 写真・画像 | 7. 動画 | 8. 体力的なレベル感 |
| 9. プログラムの詳細・初級・中級等のレベル感 | 10. ガイドの人柄 | | |
| 11. その他 () | | | |

◆10. 今回、根室地域で訪問した、または訪問する予定の観光地と移動に用いた交通機関をご記入ください。

※直接記入(宿泊地は【地図1】以外のエリアの場合)

※観光地は下の【地図1】から番号を、交通機関は【表1】から記号をお選びください。該当する番号がない場合は、訪問先名や交通機関を直接記入してください。

居住地 または 宿泊地	1 番 目	2 番 目	3 番 目	4 番 目	5 番 目	6 番 目	7 番 目	居住地 または 宿泊地
	交通機関	交通機関	交通機関	交通機関	交通機関	交通機関	交通機関	

【記入例】

※直接記入 **札幌市**

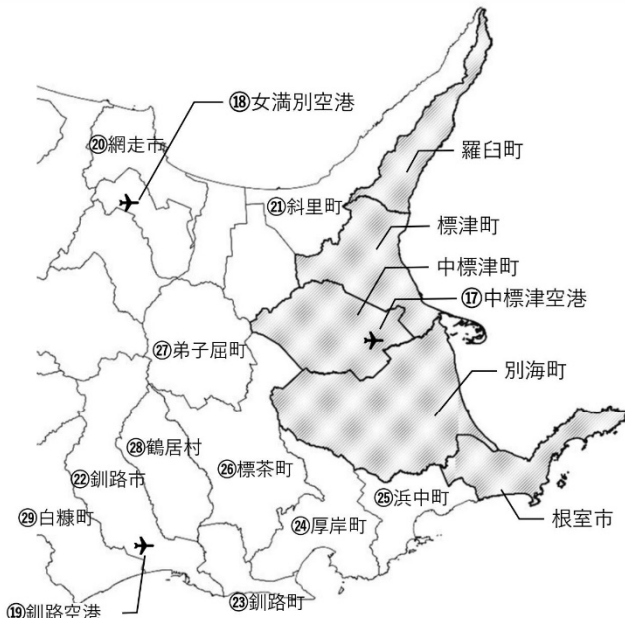
居住地 または 宿泊地	1 番 目 22	2 番 目 1	3 番 目 3	≒	5 番 目 8	6 番 目 5	7 番 目 17	居住地 または 宿泊地
	交通機関 C	交通機関 G	交通機関 G		交通機関 G	交通機関 G	交通機関 C	

【表1】から選択

【地図1】
から選択

【地図1】

根室市	空港
①納沙布岬	①⑦中標津空港
②春国岳	①⑧女満別空港
③風連湖	①⑨釧路空港
④明治公園	その他市・町・村
別海町	②⑩網走市
⑤野付半島ネイチャーセンター	②⑪斜里町
⑥野付半島原生公園	②⑫釧路市
⑦別海町鉄道記念公園	②⑬釧路町
中標津町	②⑭厚岸町
⑧開陽台	②⑮浜中町
⑨ムツゴロ動物王国	②⑯標茶町
標津町	②⑰弟子屈町
⑩標津サーモンパーク	②⑱鶴居村
⑪ポー川自然史跡公園	②⑲白糠町
羅臼町	
⑫羅臼岳	
⑬羅臼湖	
⑭熊超の滝	
⑮知床ネイチャークルーズ	
⑯知床岬ビッグマウンテン	



【表1】交通機関	A: J R 在来線	B: J R 新幹線	C: 航空機	D: フェリー	E: 観光バス
	F: 路線バス	G: レンタカー	H: 自家用車	I: タクシー	J: オートバイ
					K: 自転車

◆11. 最後にあなた自身についてお答えください。(それぞれ1つずつ、年齢は数字を記入してください)

居住地	1. 道内 [] 市・町・村	2. 道外 [] 都府県	性別	1. 男	2. 女	年齢	[] 歳
世帯年収	1. 300万円未満	2. 300～400万円未満	3. 400～500万円未満	4. 500～600万円未満	5. 600～700万円未満	6. 700～800万円未満	7. 800～900万円未満
	8. 900～1,000万円未満	9. 1,000万円以上	10. 収入なし				

ご協力ありがとうございました。

(WEB用)

現在、北海道開発局では根室地域において周遊観光を促進するため、観光目的で訪れたみなさまを対象に、旅行者の動向を把握するための調査を実施しています。貴重なお時間をいただき大変恐縮ではありますが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケートへのご協力をお願いいたします。

なお、ご記入いただいた内容は全て統計的に処理するため、個人に関する情報が漏れることはなく、本調査以外の目的で使用することはありません。

**Q2**

これまでの北海道や根室地域への訪問回数と〇〇〇(DUMMY1 回答テキスト再掲)の旅の泊数をお答えください。

- | | (北海道) | (根室地域) |
|--------|--|--|
| <訪問回数> | 1 ☐ <input type="text"/> 回 | 1 ☐ <input type="text"/> 回 |
| | 2 ☐ 北海道在住 | |
| <泊数> | 1 ☐ 日帰り | 1 ☐ 日帰り |
| | 2 ☐ <input type="text"/> 泊 | 2 ☐ <input type="text"/> 泊 |

Q3

〇〇〇(DUMMY1 回答テキスト再掲)の旅の同行者の種類をお答えください。(いくつでも)

- 1 ☐ 一人旅
- 2 ☐ 夫婦・カップル
- 3 ☐ 家族旅行(子供連れ)
- 4 ☐ その他家族(両親・姉妹など)
- 5 ☐ 友人・知人
- 6 ☐ 仕事・職場関係
- 7 ☐ その他

(続き)

Q3_2

あなたを含めて何人で訪問しましたか。

 人**Q4**

旅行前の情報入手先をお答えください。(いくつでも)

- 1 ☐ WEB/旅行会社
- 2 ☐ WEB/宿泊施設
- 3 ☐ WEB/観光協会
- 4 ☐ 宿泊予約サイト
- 5 ☐ ロコミ・比較サイト
- 6 ☐ SNS(Instagram・Twitter等)
- 7 ☐ 動画サイト(YouTube等)
- 8 ☐ ブログ
- 9 ☐ テレビ
- 10 ☐ 雑誌
- 11 ☐ ガイドブック
- 12 ☐ 友人等のロコミ
- 13 ☐ 地図アプリ
- 14 ☐ その他

Q5

旅行前の宿や移動の予約手段をお答えください。(いくつでも)

- 1 ☐ 旅行会社の店舗往訪(パッケージツアー)
- 2 ☐ 旅行会社の店舗往訪(個別手配)
- 3 ☐ 旅行会社のHP(パッケージツアー)
- 4 ☐ 宿泊施設に直接電話
- 5 ☐ 宿泊施設のHP
- 6 ☐ 旅行予約サイト
- 7 ☐ 交通事業者の店舗往訪
- 8 ☐ 交通事業者のHP
- 9 ☐ その他

(続き)

Q6

コロナ禍により、旅先の選択について変化があればお答えください。(いくつでも)

- 1 ☐ 移動距離の短い、自宅から近い旅先を選びたい
- 2 ☐ 自然や景勝地への訪問意向が強くなった
- 3 ☐ 屋外でのアクティビティへの関心が高まった
- 4 ☐ 都会への訪問意向が強くなった
- 5 ☐ 観光地をまわるより、宿でのんびり過ごしたくなった
- 6 ☐ そもそも旅行や外出への意欲が減退した
- 7 ☐ その他
- 8 ☐ 特に変化はない

Q7

普段、宿泊旅行を行う際に重視することをお答えください。(いくつでも)

- 1 ☐ 一か所でのんびり過ごす
- 2 ☐ 複数のエリアを周遊する
- 3 ☐ 自然やアクティビティ、アウトドアを楽しむ
- 4 ☐ できるだけ費用を抑える
- 5 ☐ 本物志向・高級感を求める
- 6 ☐ その日その日で行動を決める
- 7 ☐ その土地の文化・歴史を詳しく知りたい
- 8 ☐ 博物館、美術館やアートなどを楽しむ
- 9 ☐ テレビや雑誌で取り上げられた有名・定番の食・名所・体験をおさえたい
- 10 ☐ SNS(InstagramやTwitter等)などでインフルエンサーが発信したオススメを訪ねたい。またSNSで共有したい
- 11 ☐ イベント・祭りなどに参加し、その土地の人と触れ合い現地の日常を感じたい
- 12 ☐ その他
- 13 ☐ 特に何も考えていない(同行者についていく)

(続き)

Q8

〇〇〇(DUMMY回答テキスト再掲)の旅で体験した観光コンテンツ、今後体験してみたい観光コンテンツをそれぞれお答えください。(それぞれいくつでも)

 回答方向	1	2
	今回体験した	今後体験したい
カヌー	1 ☐	1 ☐
シーカヤック	2 ☐	2 ☐
ネイチャーウォッチング	3 ☐	3 ☐
バードウォッチング	4 ☐	4 ☐
ホエールウォッチング	5 ☐	5 ☐
トレッキング・フットパス	6 ☐	6 ☐
サイクリング	7 ☐	7 ☐
流水ウォーク	8 ☐	8 ☐
スノーシュー・氷上ソリ	9 ☐	9 ☐
地球探索鉄道 花咲線	10 ☐	10 ☐
夏の路線バス トドワラ号	11 ☐	11 ☐
定期観光バス のさっぶ号	12 ☐	12 ☐
海産物の加工体験	13 ☐	13 ☐
その他	14 ☐ 	14 ☐

(続き)

Q9

観光コンテンツを予約する際、参考にする情報は何かお答えください。(いくつでも)

- 1 ☐ 価格
- 2 ☐ アクセス・場所
- 3 ☐ 体験時間
- 4 ☐ レンタル品の情報
- 5 ☐ 口コミ・評価
- 6 ☐ 写真・画像
- 7 ☐ 動画
- 8 ☐ 体力的なレベル感
- 9 ☐ プログラムの詳細・初級・中級等のレベル感
- 10 ☐ ガイドの人柄
- 11 ☐ その他

(続き)

Q10.1.1

【1番目】に訪問した観光地をお知らせください。

根室市	① ①納沙布岬	羅臼町	⑫ ⑫羅臼岳
	② ②春国岱		⑬ ⑬羅臼湖
	③ ③風蓮湖		⑭ ⑭熊超の滝
	④ ④明治公園		⑮ ⑮知床ネイチャークルーズ*
	⑤ その他 		⑯ ⑯知床峠ピクニックポートクルーズ*
別海町	⑥ ⑥野付半島ネイチャーセンター	空港	⑰ その他
	⑦ ⑦野付半島原生公園		⑱ ⑱中標津空港
	⑧ ⑧別海町鉄道記念公園		⑲ ⑲女満別空港
	⑨ その他 		⑳ ⑳釧路空港
中標津町	⑩ ⑩開陽台	その他市・町・村	㉑ ㉑網走市
	⑪ ⑪ムツゴロウ動物王国		㉒ ㉒斜里町
	⑫ その他 		㉓ ㉓釧路市
標津町	⑬ ⑬標津サーモンパーク		㉔ ㉔釧路町
	⑭ ⑭ポー川自然史跡公園		㉕ ㉕厚岸町
	⑮ その他 		㉖ ㉖浜中町
			㉗ ㉗標茶町
			㉘ ㉘弟子屈町
			㉙ ㉙鶴居村
			㉚ ㉚白糠町
			㉛ ㉛その他

※ 7 番目まで同じ、2 番目以降は㉞「旅行終了（居住地）」

(続き)

Q10.1.2

【前問でお答えいただいた居住地または宿泊地】から【1 番目】の場所までに利用した交通機関をお知らせください。

- 1 ☐ JR在来線
- 2 ☐ JR新幹線
- 3 ☐ 航空機
- 4 ☐ フェリー
- 5 ☐ 観光バス
- 6 ☐ 路線バス
- 7 ☐ レンタカー
- 8 ☐ 自家用車
- 9 ☐ タクシー
- 10 ☐ オートバイ
- 11 ☐ 自転車
- 12 ☐ その他

※ 7 番目まで同じ

Q10.8.2

【最後に訪問した観光地】から【居住地や宿泊地もしくは次の目的地】までに利用した交通機関をお知らせください。

- 1 ☐ JR在来線
- 2 ☐ JR新幹線
- 3 ☐ 航空機
- 4 ☐ フェリー
- 5 ☐ 観光バス
- 6 ☐ 路線バス
- 7 ☐ レンタカー
- 8 ☐ 自家用車
- 9 ☐ タクシー
- 10 ☐ オートバイ
- 11 ☐ 自転車
- 12 ☐ その他

Q11

このアンケートに関連するインタビュー調査を実施する際、ご案内をお送りしてもよろしいでしょうか。

- 1 ☐ はい
- 2 ☐ いいえ、送らないでください

③ 調査結果

ア) 回答者属性

●居住地（問11）

全体の53.0%が「道外」、「道内根室地域外」が44.1%となっている。



図表1-2-3-1 居住地

●性別（問11）

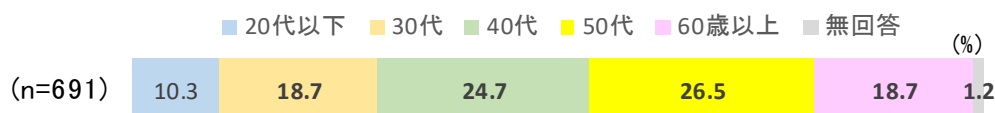
全体の65.1%が「男」、33.9%が「女」となっている。



図表1-2-3-2 性別

●年齢（問11）

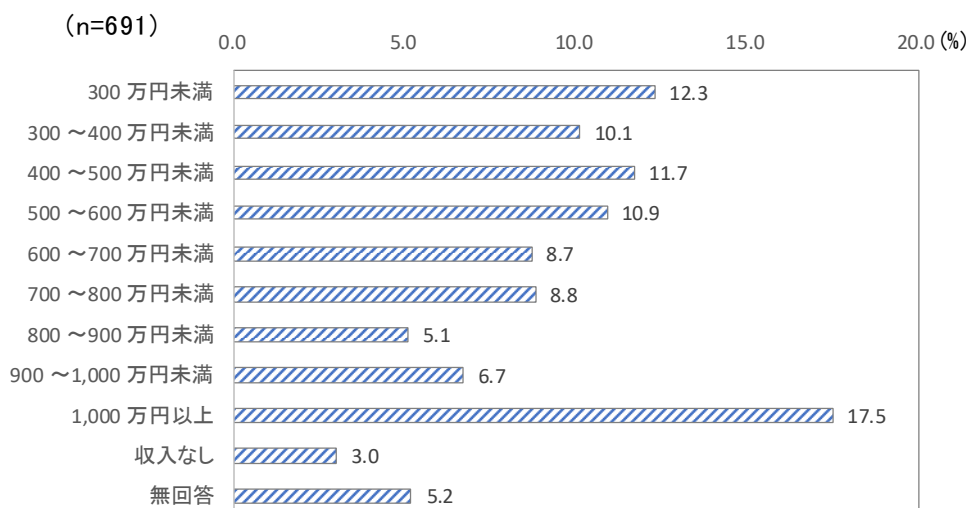
全体の26.5%が「50代」で最も多く、次いで「40代」が24.7%、「30代」「60歳以上」が各々18.7%となっている。



図表1-2-3-3 年齢

●世帯年収（問11）

全体の17.5%が「1,000万円以上」で最も多く、次いで「300万円未満」が12.3%、「400～500万円未満」が11.7%、「500～600万円未満」が10.9%、「300～400万円未満」が10.1%となっている。



図表1-2-3-4 世帯年収

イ) 旅行動向

●訪問回数

全体の53.0%が「道外」、「道内根室地域外」が44.1%となっている。

問2 これまでの北海道や根室地域への訪問回数と今回の泊数をお答えください。

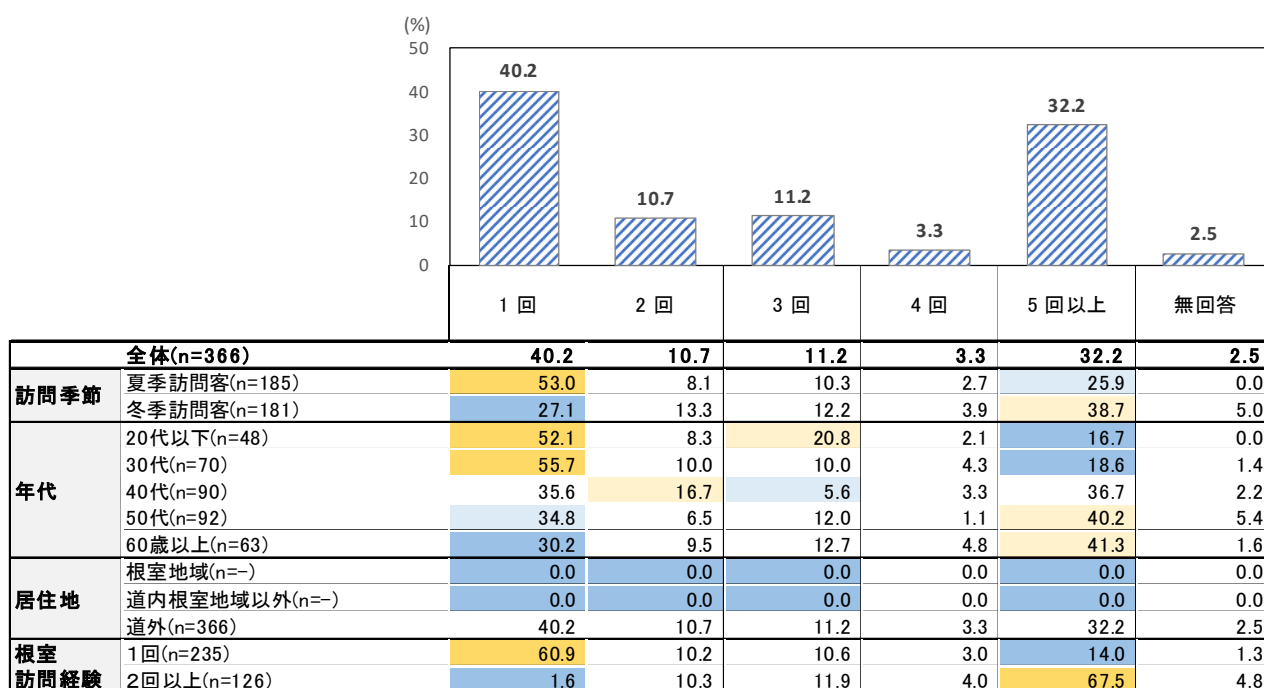
回答条件：道外居住者

【北海道への訪問回数】

全体の40.2%が「1回」で最も多く、次いで「5回以上」が32.2%となっている。

訪問季節別にみると、夏季訪問客は冬季訪問客に比べ「1回」、冬季訪問客は夏季訪問客に比べ「5回以上」が多くなっている。

年代別にみると、30代以下は他の年代層に比べ「1回」が多く、50代以上では「5回以上」が多くなっている。



* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

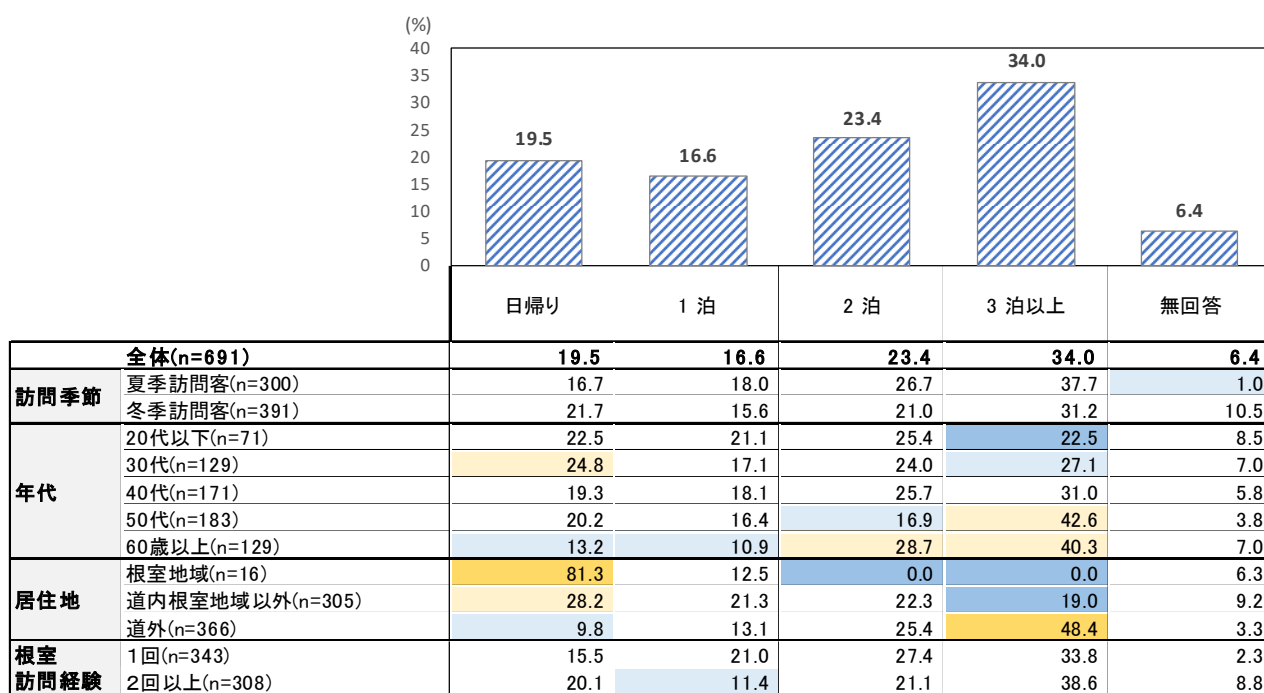
図表1-2-3-5 北海道への訪問回数

【北海道への泊数】

全体の34.0%が「3泊以上」で最も多く、次いで「2泊」が23.4%、「日帰り」が19.5%、「1泊」が16.6%となっている。

年代別にみると、50代以上は40代以下に比べ「3泊以上」が多くなっている。

居住地別にみると、道外は「3泊以上」が半数近くを占めている。



* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

図表1-2-3-6 北海道への泊数

回答条件：根室地域以外居住者

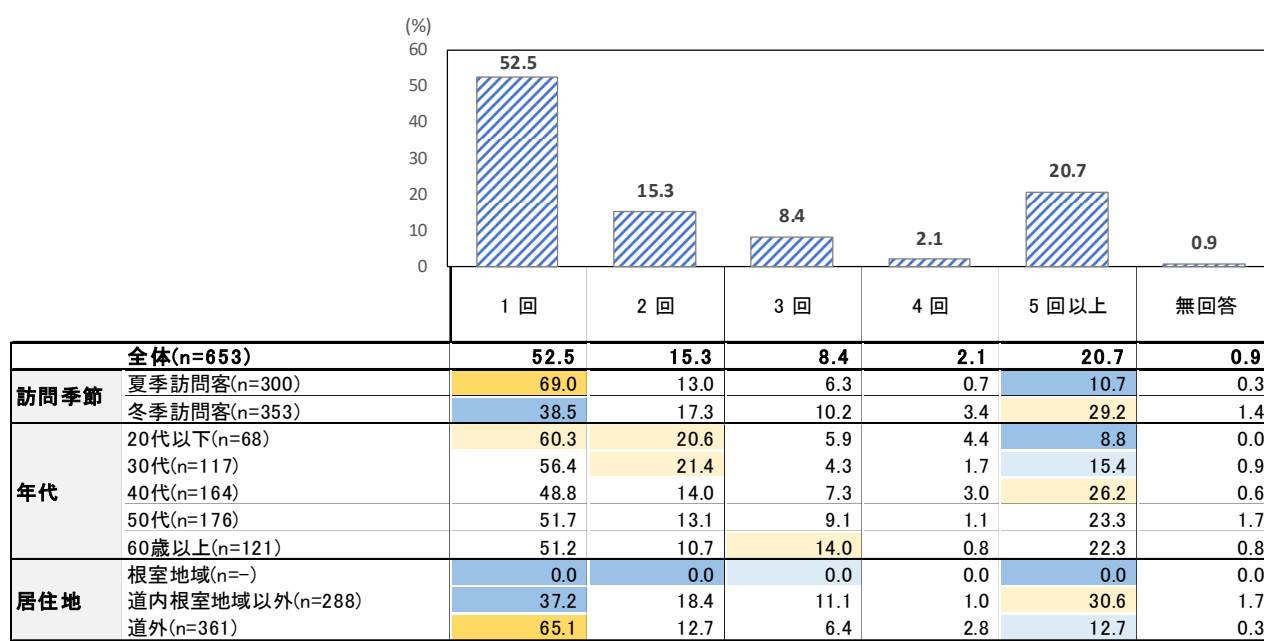
【根室地域への訪問回数】

全体の52.5%が「1回」で最も多く、次いで「5回以上」が20.7%、「2回」が15.3%となっている。

訪問季節別にみると、夏季訪問客は冬季訪問客に比べ「1回」、冬季訪問客では夏季訪問客に比べ「5回以上」が多くなっている。

年代別にみると、30代以下は40代以上に比べ「1回」「2回」が多くなっている。

居住地別にみると、道外は「1回」が過半数を占めている。



* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

図表1-2-3-7 根室地域への訪問回数

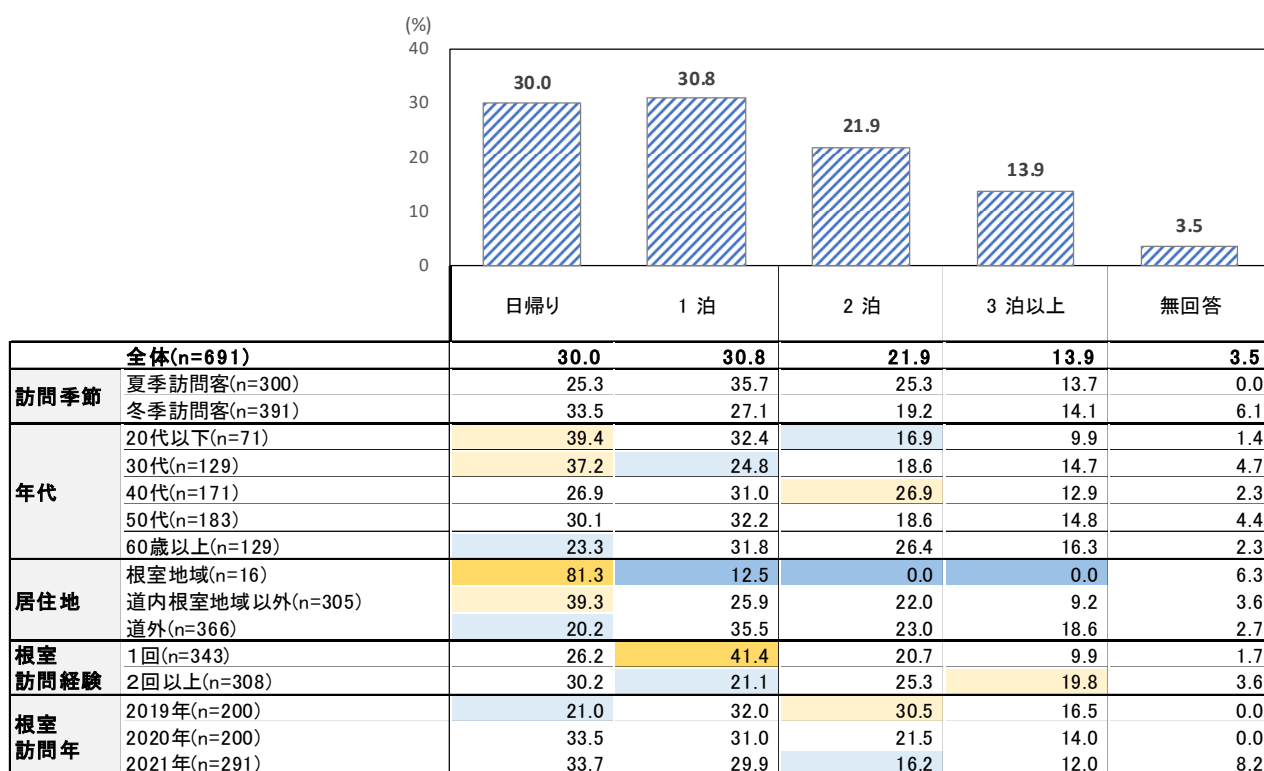
【根室地域への泊数】

全体の「1泊」が30.8%、「日帰り」が30.0%と拮抗しており、次いで「2泊」が21.9%、「3泊」が13.9%となっている。

年代別にみると、30代以下は40代以上に比べ「日帰り」が多くなっている。

根室訪問経験別にみると、2回以上は1回に比べ「3泊以上」が多くなっている。

根室訪問年別にみると、「2泊」が減少傾向となっており、宿泊日数の短期化が推察される。



* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

図表1-2-3-8 根室地域への泊数

●旅行時の重視項目

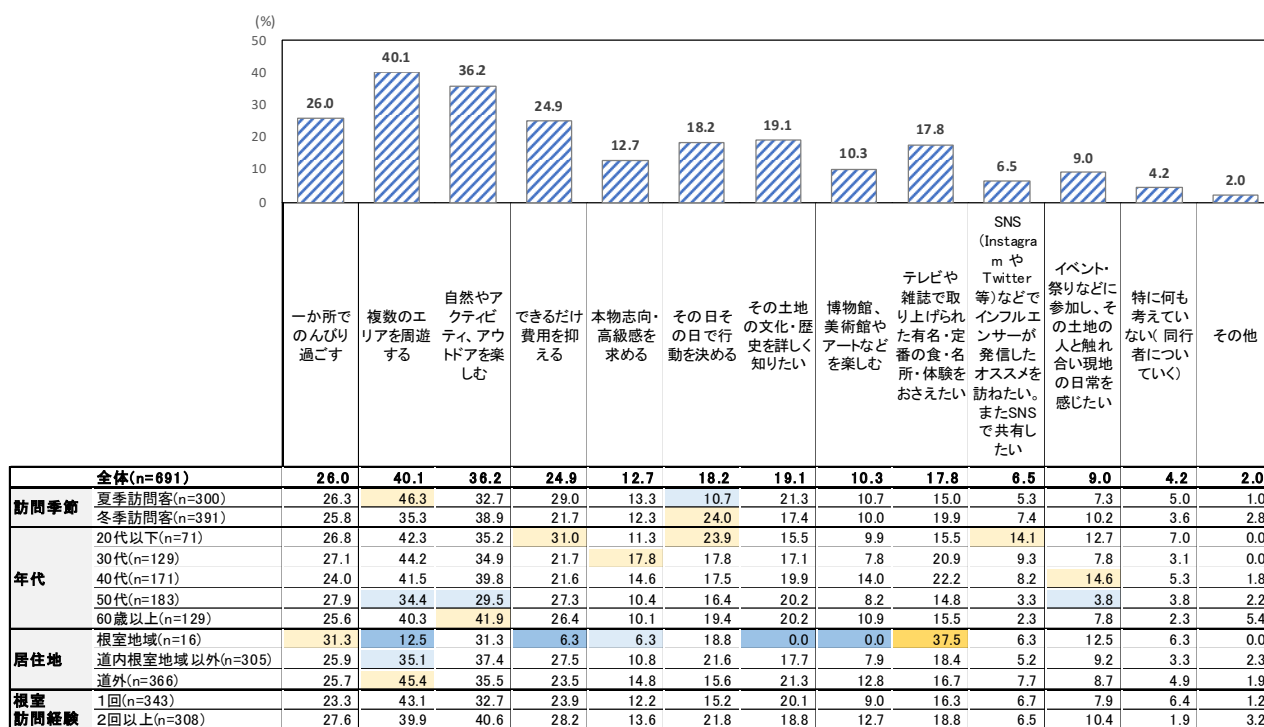
問7 普段、宿泊旅行を行う際に重視することをお答えください。(いくつでも)。

「複数のエリアを周遊する」が40.1%で最も多く、次いで「自然やアクティビティ、アウトドアを楽しむ」が36.2%、「一か所でのんびり過ごす」が26.0%、「できるだけ費用を抑える」が24.9%となっている。

訪問季節別にみると、夏季訪問客は冬季訪問客に比べ「複数のエリアを周遊する」、一方、冬季訪問客は夏季訪問客に比べ「その日その日で行動を決める」が多くなっている。

年代別にみると、60歳以上は50代以下に比べ「自然やアクティビティ、アウトドアを楽しむ」が多くなっている。

居住地別にみると、道外は道内に比べ「複数のエリアを周遊する」が多くなっている。



* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

図表1-2-3-9 旅行時の重視項目

【クラスター分析】

旅行時の重視項目の回答内容をクラスター分析することで、選択肢の集約を図った。

クラスター分析の結果、回答者の志向は「のんびりリラックス層」「節約志向層」「周遊志向層」「文化・交流志向層」「自然・アクティビティ志向層」の5つに分けられた。最も出現率が高いのは「自然・アクティビティ志向層」で29.5%、次いで「のんびりリラックス層」が21.9%となっている。

※クラスター分析とは――

データから距離を計算し、その距離関係からグループ（クラスター）を作っていく方法。距離が近い人から順にクラスターを作っていく、最終的に一つのクラスターになる。

そのクラスター化のプロセスを見て、いくつかのグループに分けるのがクラスター分析の目的である。

●各クラスターの特徴

＜クラスター1【のんびりリラックス層】/全体の21.9%(n=151)＞

性別(%)			居住地(%)				世帯年収 平均(万円)
男性	女性	無回答	根室地域	道内根室 地域以外	道外	無回答	
59.6	39.7	0.7	3.3	42.4	53.0	1.3	669
年齢(%)							
20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
0.0	9.3	21.9	21.9	28.5	15.9	2.0	0.7
北海道来訪経験(%)				根室地域来訪経験(%)			
1回	2回以上	北海道 在住	無回答	1回	2回以上	根室地域 在住	無回答
22.5	29.1	47.0	1.3	47.7	43.0	3.3	6.0
旅行時の重視項目(上位5)(%)				クラスターの特徴			
1	一か所でのんびり過ごす			100.0	比較的女性が多く、一か所でのんびり過ごし、自然やアクティビティ、アウトドアに関心が高い。		
2	自然やアクティビティ、アウトドアを楽しむ			23.8			
3	できるだけ費用を抑える			17.2			
4	本物志向・高級感を求める			13.9			
5	その日その日で行動を決める			13.9			

＜クラスター2【節約志向層】/全体の19.0%(n=131)＞

性別(%)			居住地(%)				世帯年収 平均(万円)
男性	女性	無回答	根室地域	道内根室 地域以外	道外	無回答	
71.8	28.2	0.0	0.8	50.4	48.9	0.0	559
年齢(%)							
20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
0.0	10.7	20.6	22.9	28.2	17.6	0.0	0.0
北海道来訪経験(%)				根室地域来訪経験(%)			
1回	2回以上	北海道 在住	無回答	1回	2回以上	根室地域 在住	無回答
16.0	32.8	51.1	0.0	50.4	48.1	0.8	0.8
旅行時の重視項目(上位5)(%)				クラスターの特徴			
1	できるだけ費用を抑える			100.0	比較的女性、北海道居住者が多く、クラスターの中で最も世帯年収が低い。コストパフォーマンスを重視し、自然やアクティビティ、アウトドアに関心が高い。		
2	複数のエリアを周遊する			56.5			
3	自然やアクティビティ、アウトドアを楽しむ			31.3			
4	テレビや雑誌で取り上げられた有名・定番の食・名所・体験をおさえない			19.1			
5	その土地の文化・歴史を詳しく知りたい			18.3			

＜クラスター3【周遊志向層】/全体の21.4%(n=148)＞

性別(%)			居住地(%)				世帯年収 平均(万円)
男性	女性	無回答	根室地域	道内根室 地域以外	道外	無回答	
69.6	28.4	2.0	1.4	37.2	60.1	1.4	649
年齢(%)							
20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
0.0	10.8	18.9	23.6	23.0	20.9	0.7	2.0
北海道来訪経験(%)				根室地域来訪経験(%)			
1回	2回以上	北海道 在住	無回答	1回	2回以上	根室地域 在住	無回答
22.3	37.8	39.9	0.0	54.7	41.2	1.4	2.7
旅行時の重視項目(上位5)(%)				クラスターの特徴			
1	複数のエリアを周遊する			100.0	比較的女性、60代以上、道外居住者、北海道来訪経験2回以上が多い。複数のエリアを周遊する傾向が強い。		
2	自然やアクティビティ、アウトドアを楽しむ			29.7			
3	テレビや雑誌で取り上げられた有名・定番の食・名所・体験をおさえない			15.5			
4	その土地の文化・歴史を詳しく知りたい			12.2			
5	その日その日で行動を決める			9.5			

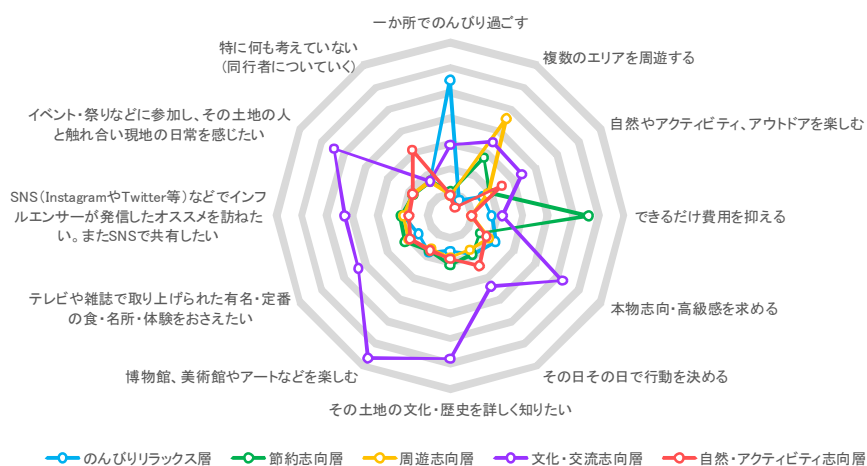
＜クラスター4【文化・交流志向層】/全体の8.2%(n=57)＞

性別(%)			居住地(%)				世帯年収 平均(万円)
男性	女性	無回答	根室地域	道内根室 地域以外	道外	無回答	
71.9	26.3	1.8	0.0	42.1	57.9	0.0	766
年齢(%)							
20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
0.0	10.5	14.0	36.8	21.1	15.8	0.0	1.8
北海道来訪経験(%)				根室地域来訪経験(%)			
1回	2回以上	北海道 在住	無回答	1回	2回以上	根室地域 在住	無回答
19.3	35.1	42.1	3.5	45.6	52.6	0.0	1.8
旅行時の重視項目(上位5)(%)				クラスターの特徴			
1	その土地の文化・歴史を詳しく知りたい			91.2	比較的女性、40歳代、根室地域来訪経験2回以上が多く、クラスターの中で最も世帯年収が高い。全般的に関心が高く、特にその土地の文化・歴史、博物館、美術館やアートに対する関心が高い。		
2	博物館、美術館やアートなどを楽しむ			78.9			
3	複数のエリアを周遊する			73.7			
4	自然やアクティビティ、アウトドアを楽しむ			66.7			
5	本物志向・高級感を求める			64.9			

＜クラスター5【自然・アクティビティ志向層】/全体の29.5%(n=204)＞

性別(%)			居住地(%)				世帯年収 平均(万円)
男性	女性	無回答	根室地域	道内根室 地域以外	道外	無回答	
59.8	39.2	1.0	3.9	47.1	49.0	0.0	656
年齢(%)							
20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
0.5	9.8	16.2	25.5	27.9	16.2	2.5	1.5
北海道来訪経験(%)				根室地域来訪経験(%)			
1回	2回以上	北海道 在住	無回答	1回	2回以上	根室地域 在住	無回答
23.5	23.0	51.0	2.5	48.0	41.7	3.9	6.4
旅行時の重視項目(上位5)(%)				クラスターの特徴			
1	自然やアクティビティ、アウトドアを楽しむ			44.6	比較的女性、北海道居住者が多い。自然やアクティビティ、アウトドアが最も高くなっているが、全般的に関心は低い。		
2	その日その日で行動を決める			24.0			
3	テレビや雑誌で取り上げられた有名・定番の食・名所・体験をおさえない			14.7			
4	その土地の文化・歴史を詳しく知りたい			13.2			
5	本物志向・高級感を求める			6.9			

＜各クラスターの宿泊旅行を重視するポイントの特徴＞



※因子得点を標準化している

図表1-2-3-10 各クラスターの特徴

●旅の主な目的

問1 今回の旅の主な目的をお答えください。(1つだけ)

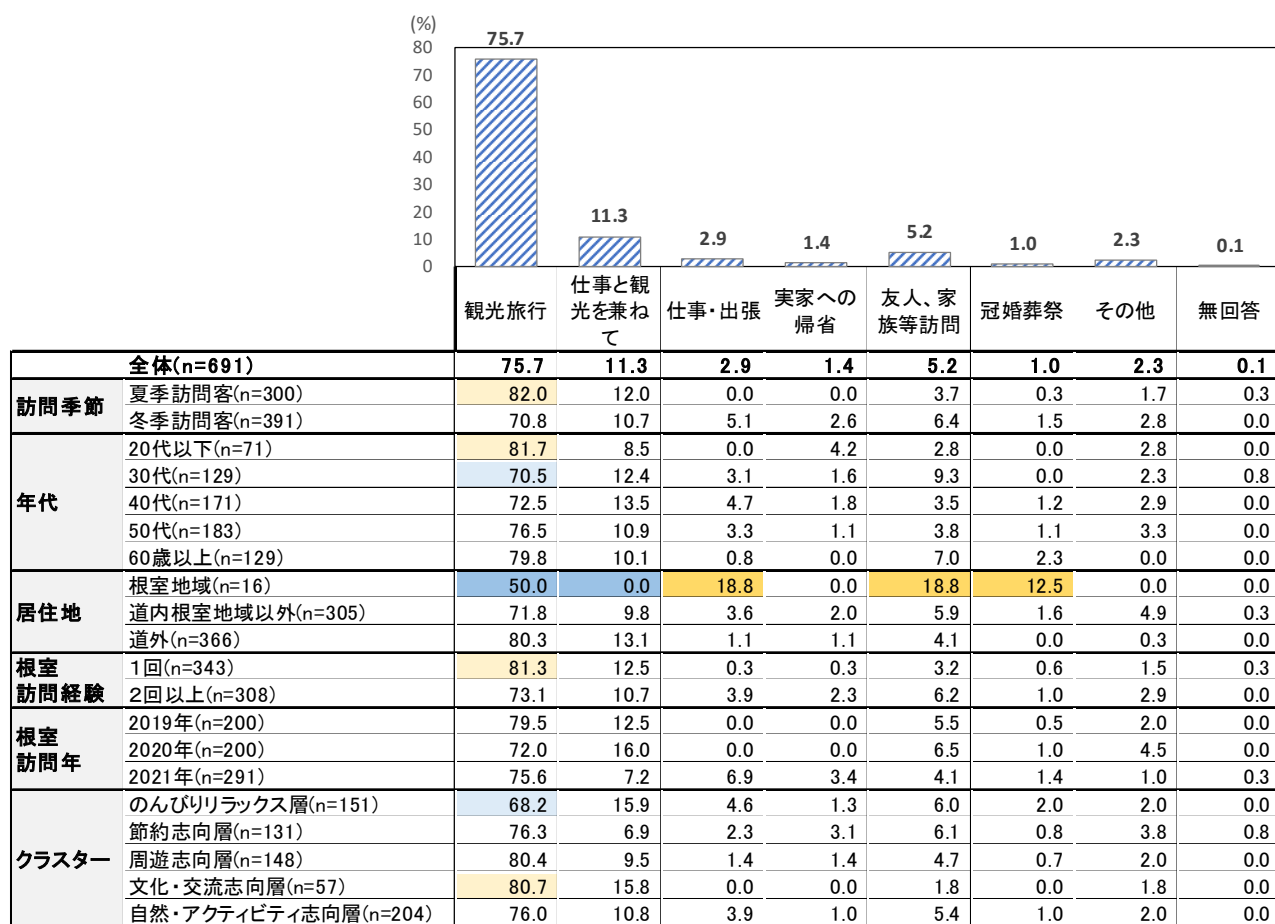
全体の75.7%が「観光旅行」となっている。

訪問季節別にみると、夏季訪問客は冬季訪問客に比べ「観光旅行」が多くなっている。

年代別にみると、20代以下は30代以上に比べ「観光旅行」が多くなっている。

根室訪問経験別にみると、1回は2回以上に比べ「観光旅行」が多くなっている。

クラスター別にみると、のんびりリラックス層は他のクラスターに比べ「観光旅行」が少なくなっている。



* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

図表1-2-3-11 旅の主な目的

●同行者

問3 今回の同行者の種類をお答えください。(いくつでも)

【同行者の種類】

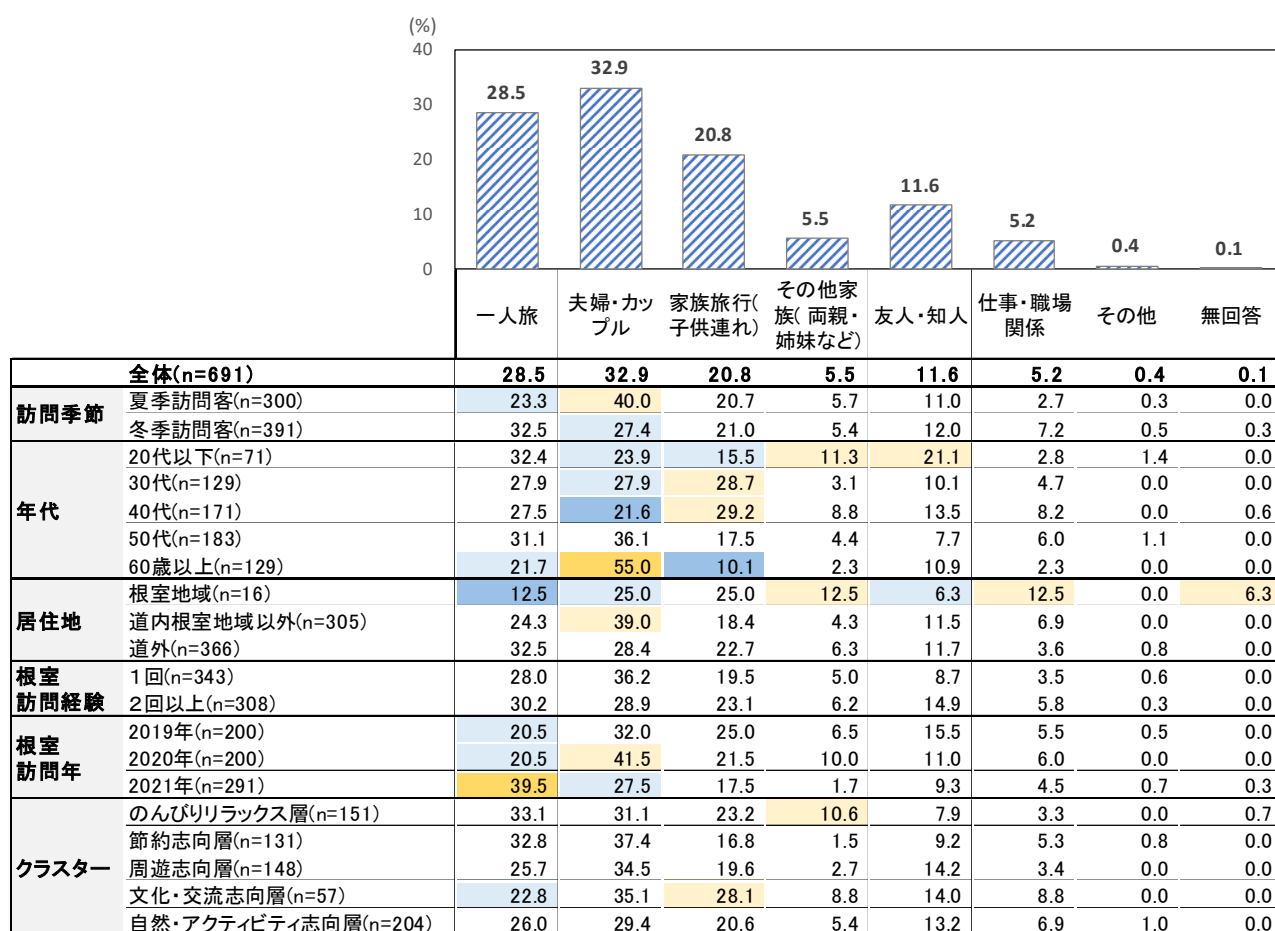
全体の32.9%が「夫婦・カップル」で最も多く、次いで「一人旅」が28.5%、「家族旅行(子供連れ)」が20.8%となっている。

年代別にみると、60歳以上は50代以下に比べ「夫婦・カップル」が多くなっている。

居住地別にみると、道内根室地域以外は他の居住地に比べ「夫婦・カップル」が多くなっている。

根室訪問年別にみると、2021年では2020年以前に比べ「一人旅」が多くなっている。

クラスター別にみると、のんびりリラックス層は他のクラスターに比べ「その他家族(両親・姉妹など)」、文化・交流志向層では「家族旅行(子供連れ)」が多くなっている。



* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

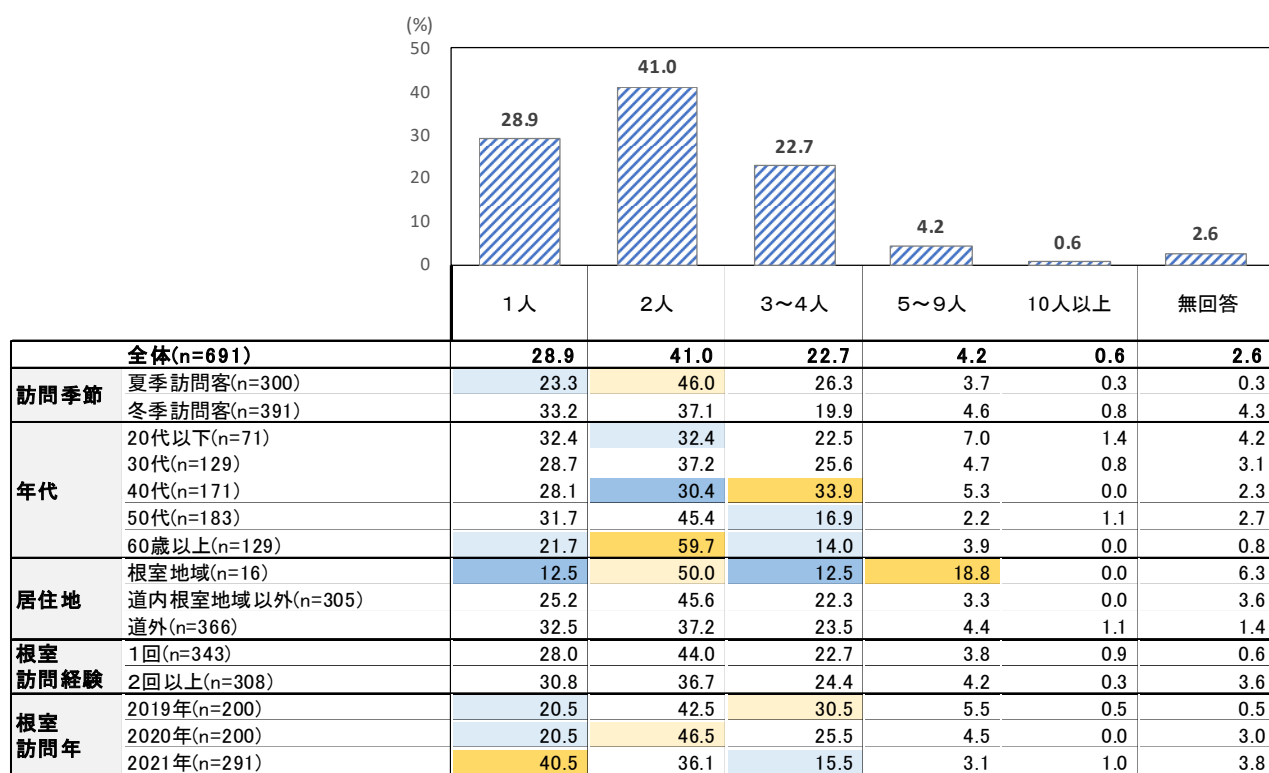
図表1-2-3-12 同行者

【訪問人数】

全体の41.0%が「2人」で最も多く、次いで「1人」が28.9%、「3～4人」が22.7%となっている。

年代別にみると、40代は他の年代層に比べ「3～4人」、60歳以上は「2人」が多くなっている。

根室訪問年別にみると、2021年では「1人」が約4割を占め、また「3～4人」は減少傾向となっており、訪問人数の少数化が推察される。



* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

図表1-2-3-13 訪問人数

●情報入手先

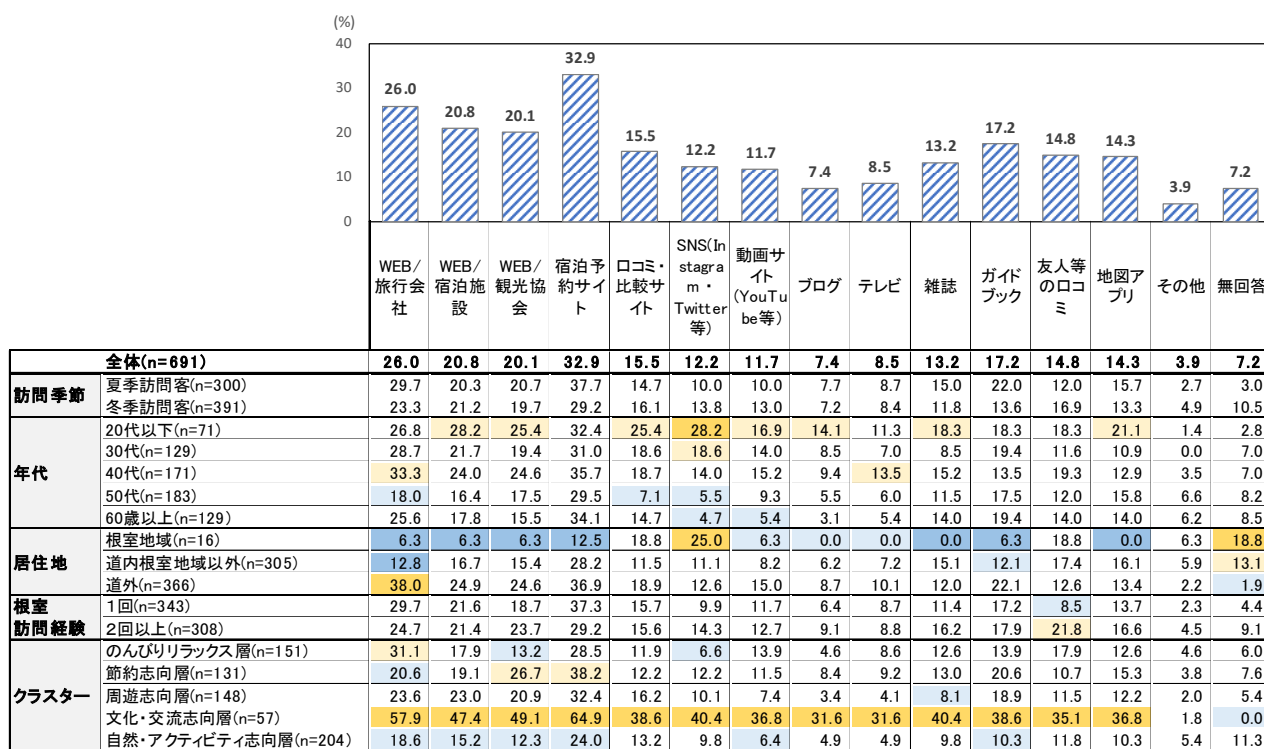
問4 旅行前の情報入手先をお答えください。(いくつでも)

全体では32.9%で「宿泊予約サイト」が最も多く、次いで「WEB/旅行会社」が26.0%、「WEB/宿泊施設」が20.8%、「WEB/観光協会」が20.1%となっている。

年代別にみると、「SNS(Instagram・Twitter等)」は若年層ほど多くなっている。

居住地別にみると、道外は道内に比べ「WEB/旅行会社」が多くなっている。

クラスター別にみると、文化・交流志向層は他のクラスターに比べ全般的に情報感度が高くなっている。



* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

図表1-2-3-14 情報入手先

●旅行前の予約手段

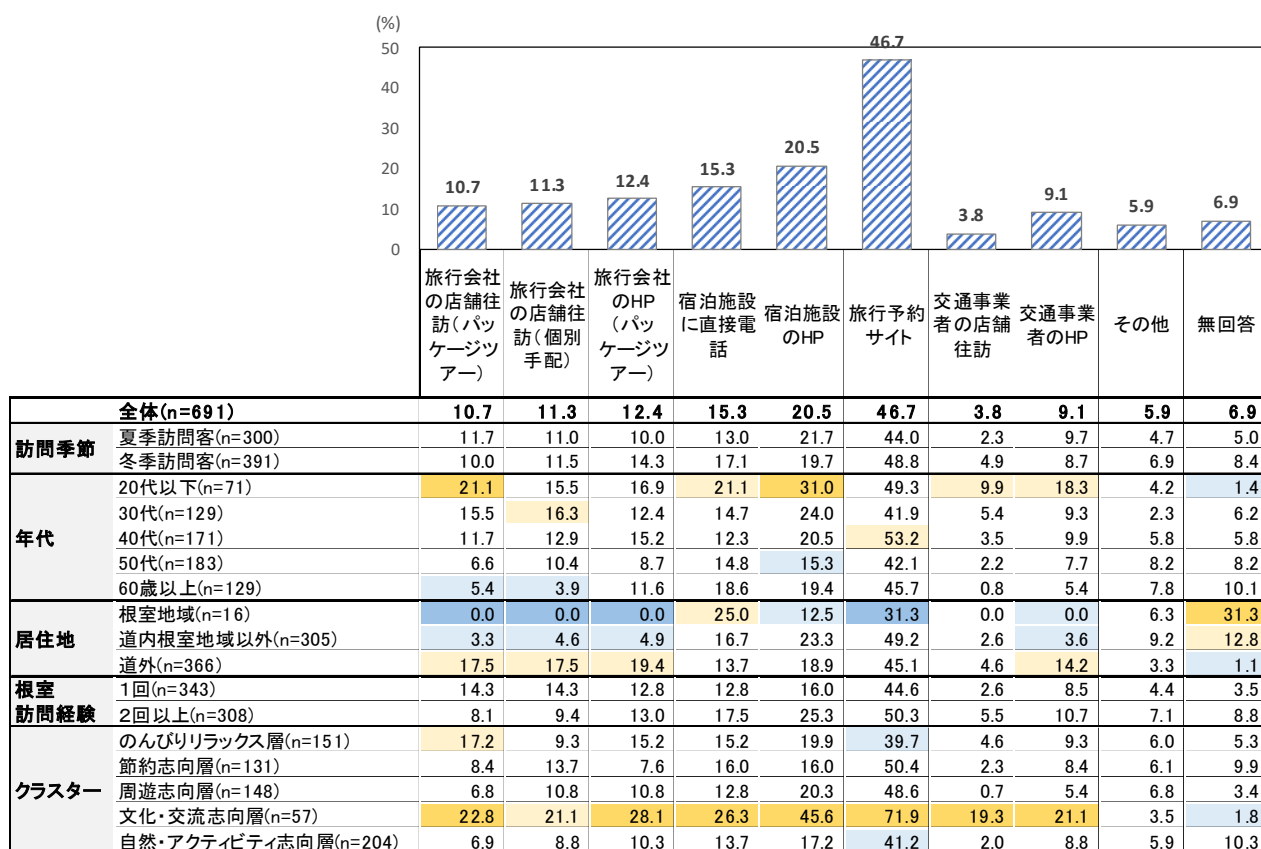
問5 旅行前の宿や移動の予約手段をお答えください。(いくつでも)

全体では46.7%で「旅行予約サイト」が最も多く、次いで「宿泊施設のHP」が20.5%となっている。

年代別にみると、20代以下は30代以上に比べ「旅行会社の店舗往訪（パッケージツアー）」「宿泊施設のHP」が多くなっている。

居住地別にみると、道外は道内に比べ「旅行会社の店舗往訪（パッケージツアー）」「旅行会社の店舗往訪（個別手配）」「旅行会社のHP（パッケージツアー）」「交通事業者のHP」が多くなっている。

クラスター別にみると、文化・交流志向層は他のクラスターに比べ全般的に高くなっている。



* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

図表1-2-3-15 旅行前の予約手段

●旅先の選択の変化

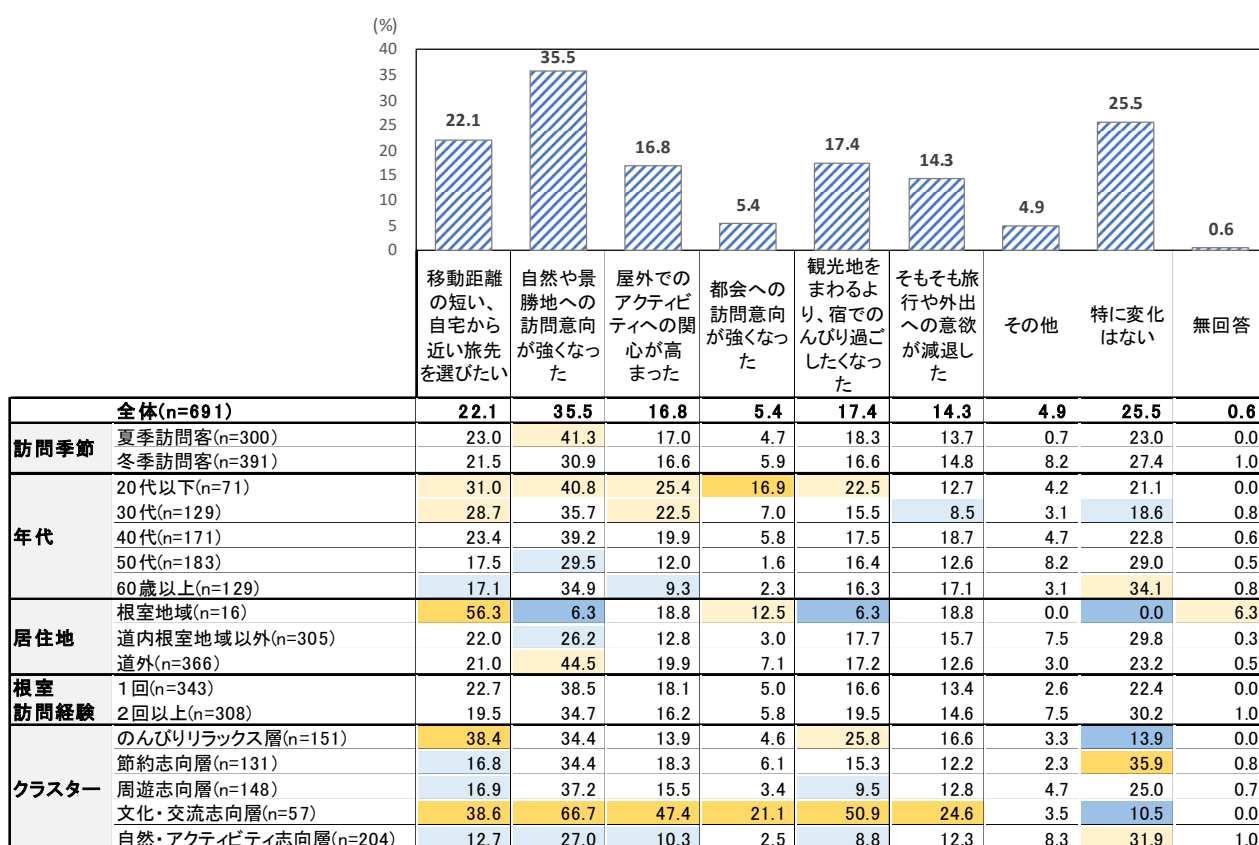
問6 コロナ禍により、旅先の選択について変化があればお答えください。(いくつでも)

全体では35.5%で「自然や景勝地への訪問意向が強くなった」が最も多く、次いで「特に変化はない」が25.5%、「移動距離の短い、自宅から近い旅先を選びたい」が22.1%となっている。

年代別にみると、20代以下は30代以上に比べ「都会への訪問意向が強くなった」が多くなっている。

居住地別にみると、道外は道内に比べ「自然や景勝地への訪問意向が強くなった」が多くなっている。

クラスター別にみると、のんびりリラックス層は「移動距離の短い、自宅から近い旅先を選びたい」、節約志向層は「特に変化はない」、文化・交流志向層は全般的に他のクラスターに比べ多くなっている。



* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

図表1-2-3-16 旅先の選択の変化

●体験した観光コンテンツ

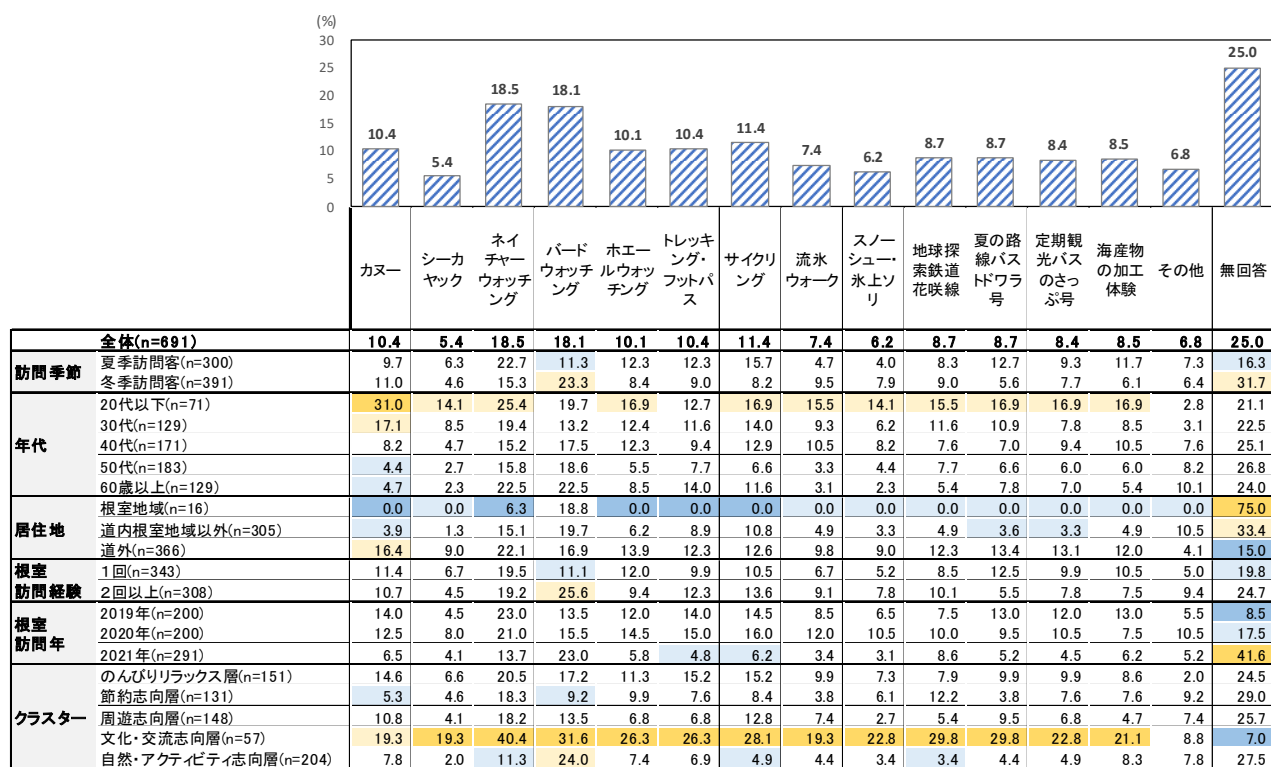
問8 今回の旅で体験した・する観光コンテンツ、今後体験してみたい観光コンテンツをそれぞれお答えください。

【体験した・する観光コンテンツ】

全体では18.5%で「ネイチャーウォッチング」が最も多く、次いで「バードウォッチング」が18.1%となっている。

年代別にみると、20代以下は全般的に30代以上に比べ多く、特に「カヌー」は多くなっている。

根室訪問経験別にみると、2回以上は1回に比べ「バードウォッチング」が多くなっている。クラスター別にみると、文化・交流志向層は全般的に他のクラスターに比べ多くなっている。



* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

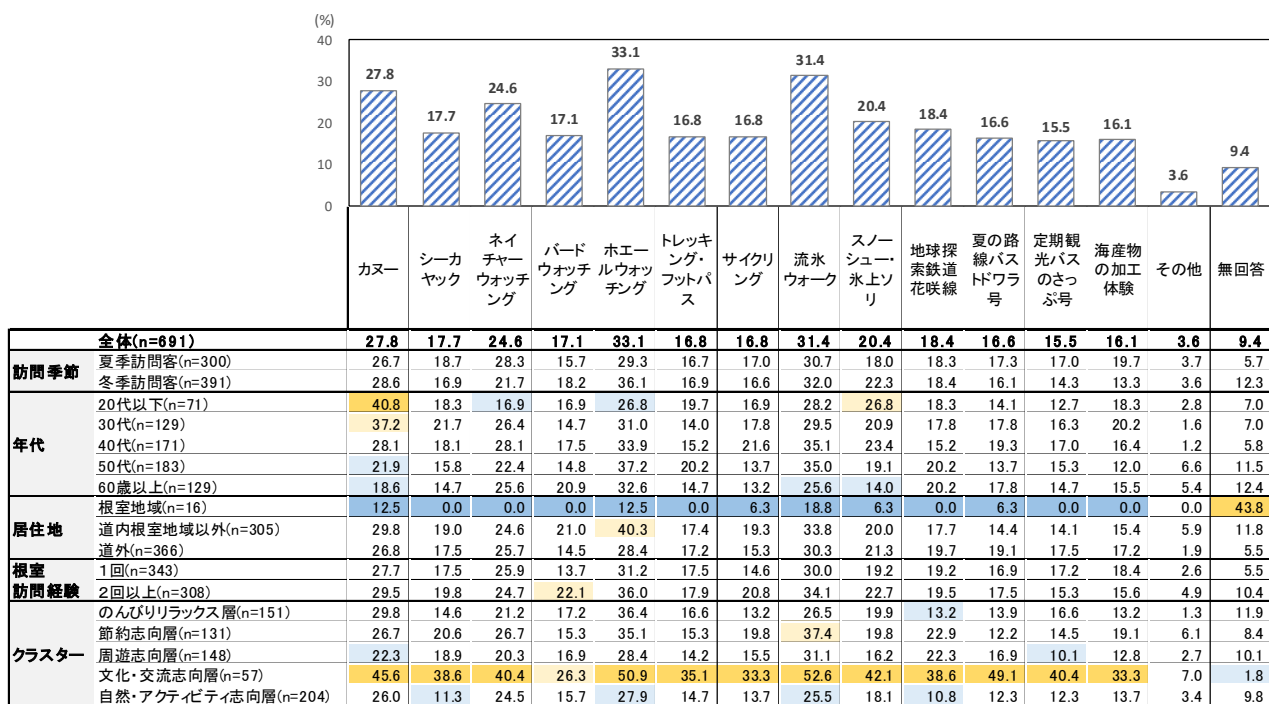
図表1-2-3-17 体験した・する観光コンテンツ

【今後体験したい観光コンテンツ】

全体では33.1%で「ホエールウォッチング」が最も多く、次いで「流氷ウォーク」が31.4%、「カヌー」が27.8%、「ネイチャーウォッチング」が24.6%となっている。

年代別にみると、若年層ほど「カヌー」が多くなっている。

クラスター別にみると、文化・交流志向層は全般的に他のクラスターに比べ多くなっている。



* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

図表1-2-3-18 今後体験したい観光コンテンツ

●観光コンテンツ予約時の参考情報

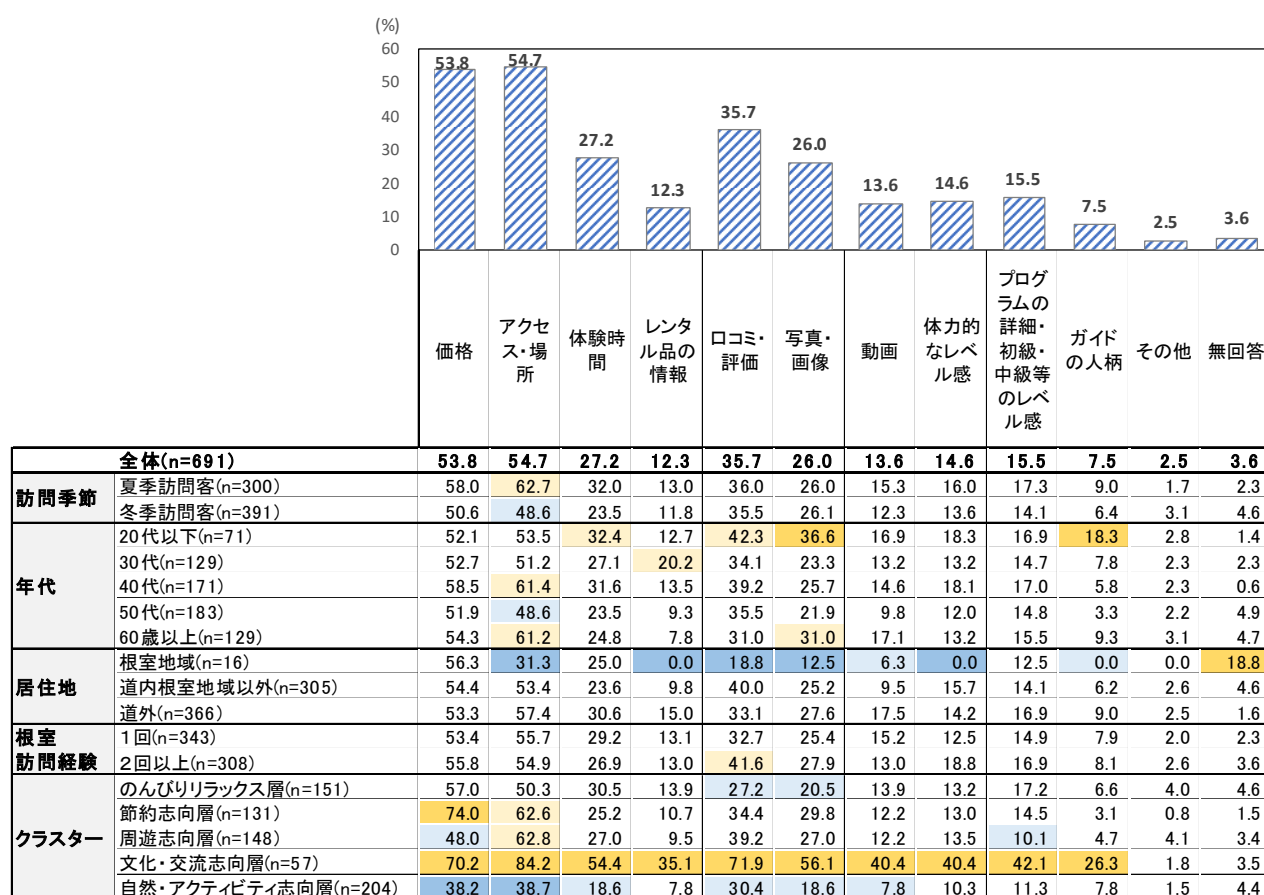
問9 観光コンテンツを予約する際、参考にする情報は何かお答えください。
(いくつでも)

全体では54.7%で「アクセス・場所」が最も多く、次いで「価格」が53.8%、「口コミ・評価」が35.7%となっている。

年代別にみると、20代以下は30代以上に比べ「写真・画像」「ガイドの人柄」が多くなっている。

根室訪問経験別にみると、2回以上は1回に比べ「口コミ・評価」が多くなっている。

クラスター別にみると、文化・交流志向層は全般的に他のクラスターに比べ多くなっている。



* 黄色は全体+10ポイント以上、オレンジは+5ポイント以上、青は-10ポイント以下、水色は-5ポイント以下

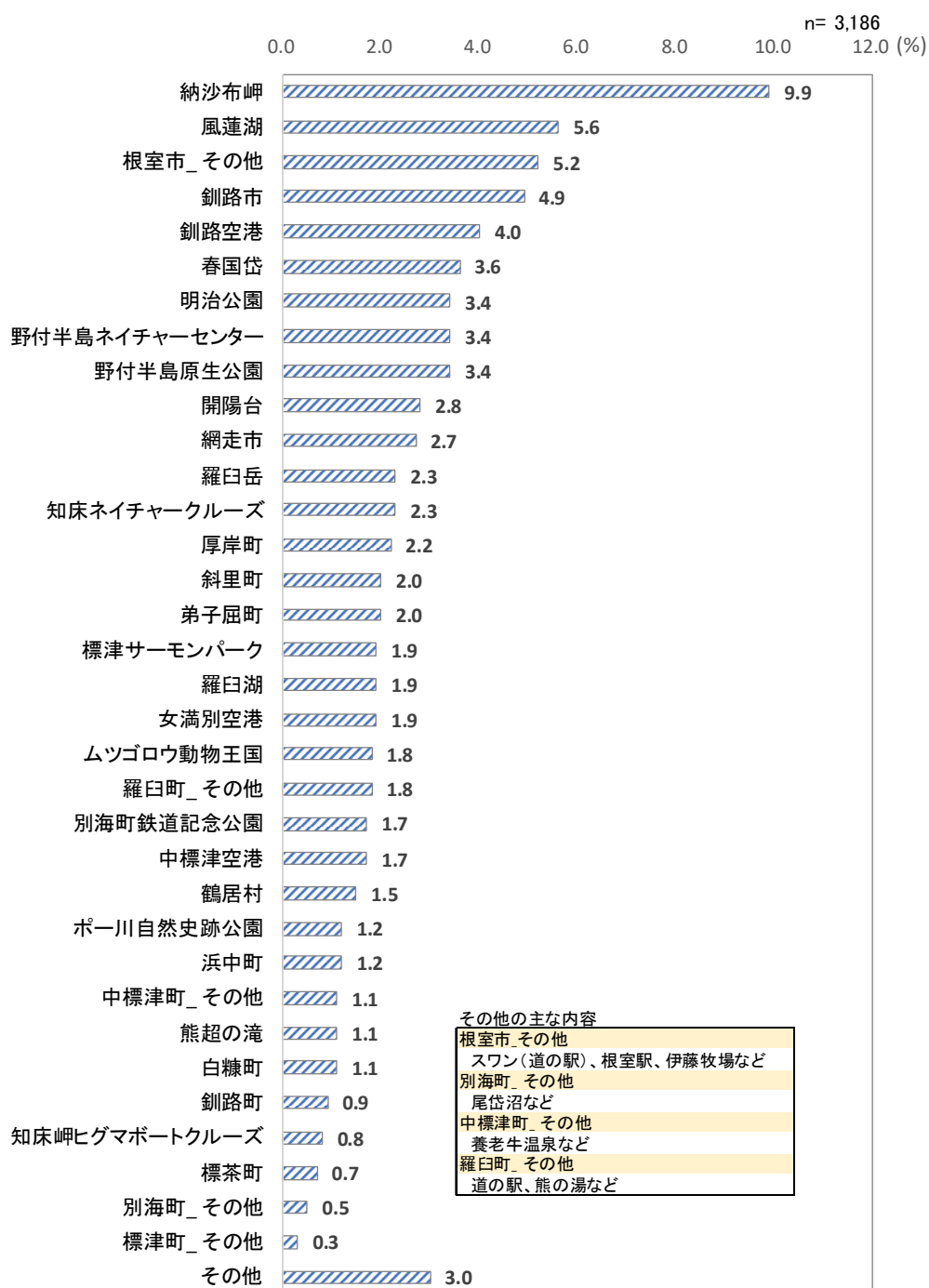
図表1-2-3-19 観光コンテンツ予約時の参考情報

●訪問観光地と交通手段

問10 今回、根室地域で訪問した、または訪問する予定の観光地と移動に用いた交通機関をご記入ください。

【1番目から7番目までの目的地トータル（延べ人数）】

1番目から7番目までの目的地を合わせた延べ人数で集計すると、「納沙布岬」が9.9%で最も多く、次いで「風蓮湖」が5.6%、「根室市_その他」が5.2%、「釧路市」が4.9%となっている。



図表1-2-3-20 訪問観光地

【1番目から7番目までの目的地までの利用交通機関（延べ人数）】

目的地として選ばれた地点の多い順にみると、納沙布岬は「自家用車」が32.5%で最も多く、次いで「レンタカー」が24.5%、「JR在来線」が19.7%、「観光バス」が11.1%となっている。風連湖は「自家用車」が27.2%で最も多く、「レンタカー」が18.9%、「観光バス」が11.1%となっている。また、根室市_その他、釧路市は「自家用車」が各々61.2%、45.5%となっている。

(%)

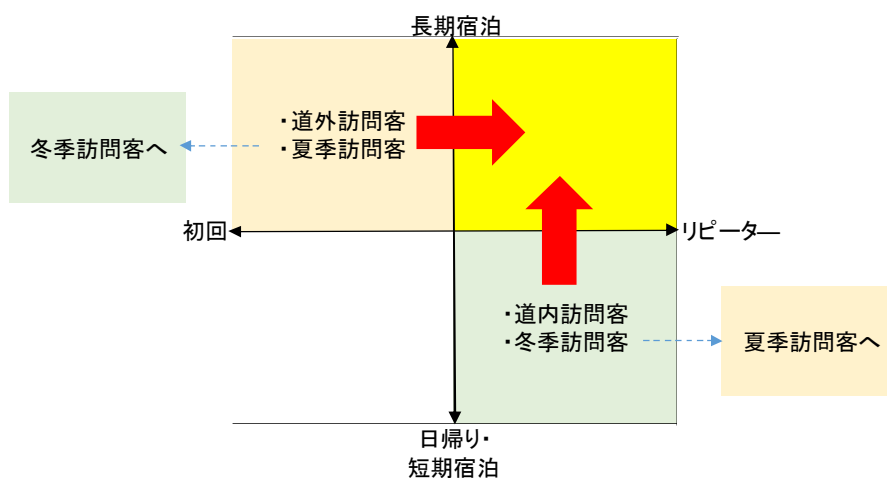
		交通手段												
		J R 在 来 線	J R 新 幹 線	航 空 機	フ ェ リ ー	観 光 バ ス	路 線 バ ス	レ ン タ カ ー	自 家 用 車	タ ク シ ー	オ ー ト バ イ	自 転 車	そ の 他	無 回 答
目的地 (降順)	納沙布岬(n=314)	19.7	0.0	0.0	0.0	11.1	2.9	24.5	32.5	0.6	1.0	1.6	0.0	6.1
	風連湖(n=180)	7.2	0.0	0.0	0.0	11.1	7.2	18.9	27.2	1.7	2.8	0.6	0.0	23.3
	根室市_その他(n=165)	6.7	0.0	0.0	0.0	6.1	3.0	21.2	61.2	0.0	0.0	0.0	0.6	1.2
	釧路市(n=156)	13.5	0.0	0.0	0.0	3.8	2.6	23.7	45.5	0.6	0.0	1.3	1.3	7.7
	釧路空港(n=127)	11.0	0.0	37.8	0.0	4.7	1.6	33.1	9.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	春国岱(n=114)	12.3	0.0	0.0	0.0	13.2	5.3	17.5	23.7	1.8	4.4	0.9	0.0	21.1
	明治公園(n=109)	10.1	0.0	0.0	0.0	11.9	5.5	27.5	23.9	2.8	1.8	0.9	0.0	15.6
	野付半島ネイチャーセンター(n=109)	3.7	0.0	0.0	0.0	15.6	4.6	33.9	34.9	0.9	0.9	1.8	0.0	3.7
	野付半島原生公園(n=109)	4.6	0.0	0.0	0.0	9.2	1.8	31.2	41.3	1.8	0.9	2.8	0.0	6.4
	開陽台(n=88)	2.3	0.0	0.0	0.0	6.8	0.0	28.4	48.9	0.0	3.4	2.3	0.0	8.0
	網走市(n=86)	18.6	0.0	0.0	0.0	8.1	8.1	26.7	29.1	0.0	0.0	1.2	0.0	8.1
	羅臼岳(n=74)	2.7	0.0	0.0	0.0	8.1	4.1	44.6	32.4	0.0	1.4	0.0	0.0	6.8
	知床ネイチャークルーズ(n=73)	8.2	0.0	0.0	0.0	19.2	1.4	32.9	26.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.3
	厚岸町(n=70)	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	1.4	22.9	61.4	0.0	2.9	0.0	1.4	1.4
	斜里町(n=64)	0.0	0.0	0.0	0.0	9.4	3.1	23.4	59.4	1.6	0.0	0.0	0.0	3.1
	弟子屈町(n=63)	4.8	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	23.8	58.7	1.6	0.0	3.2	0.0	1.6
	羅臼湖(n=62)	3.2	0.0	0.0	0.0	19.4	3.2	40.3	19.4	4.8	0.0	0.0	0.0	9.7
	女満別空港(n=62)	1.6	0.0	25.8	0.0	8.1	1.6	37.1	17.7	1.6	0.0	1.6	0.0	4.8
	標津サーモンパーク(n=60)	5.0	0.0	0.0	0.0	3.3	5.0	31.7	41.7	1.7	0.0	0.0	1.7	10.0
	ムツゴロウ動物王国(n=57)	8.8	0.0	0.0	0.0	14.0	7.0	33.3	15.8	5.3	3.5	3.5	0.0	8.8
	羅臼町_その他(n=56)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8	17.9	76.8	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0
	中標津空港(n=55)	3.6	0.0	40.0	0.0	7.3	7.3	32.7	7.3	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0
	別海町鉄道記念公園(n=53)	15.1	0.0	0.0	0.0	9.4	11.3	30.2	17.0	1.9	0.0	7.5	0.0	7.5
	鶴居村(n=47)	2.1	0.0	0.0	0.0	6.4	0.0	27.7	55.3	0.0	0.0	2.1	0.0	6.4
	浜中町(n=39)	5.1	0.0	0.0	0.0	5.1	5.1	23.1	59.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6
	ポー川自然史跡公園(n=38)	7.9	0.0	0.0	0.0	26.3	7.9	28.9	13.2	2.6	2.6	0.0	0.0	10.5
	中標津町_その他(n=35)	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	14.3	68.6	5.7	0.0	0.0	5.7	0.0
	熊超の滝(n=35)	11.4	0.0	0.0	0.0	20.0	2.9	25.7	17.1	5.7	5.7	2.9	0.0	8.6
	白糠町(n=35)	20.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	22.9	34.3	0.0	2.9	5.7	0.0	8.6
	釧路町(n=28)	17.9	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	28.6	32.1	3.6	3.6	0.0	0.0	10.7
	知床岬ヒグマボートクルーズ(n=24)	4.2	0.0	0.0	0.0	25.0	4.2	20.8	29.2	8.3	0.0	4.2	0.0	4.2
	標茶町(n=23)	0.0	0.0	0.0	0.0	17.4	0.0	21.7	56.5	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0
	別海町_その他(n=16)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標津町_その他(n=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(n=96)	18.8	0.0	8.3	3.1	0.0	2.1	18.8	47.9	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0

* ■は50%以上、■は40%台、■は30%台、■は20%台、■は10%台

図表1-2-3-21 交通手段

ウ) 結果のまとめ

根室地域観光客の旅行動向の特徴として、『夏季訪問客は初回の観光客、冬季訪問客はリピーターが多い』『道外訪問客は初回の観光客、道内訪問客はリピーターが多い』となっている。したがって、居住地と訪問時期の二つの側面から今後の根室地域観光施策の方向性を考えると、下記の図に示したように、『道外訪問客・夏季訪問客はリピーターへ』『道内訪問客・冬季訪問客は宿泊の長期化へ』、さらに『夏季訪問客に対してはさらに冬季へ』『冬季訪問客に対してはさらに夏季へ』とするアプローチが必要と考えられる。



図表1-2-3-22 根室地域観光施策の方向性

訪問客の特徴をみると、道外訪問客、夏季訪問客は「複数のエリアを周遊する」傾向が高くなっている。つまり、長期宿泊の中で効率的に数多くの観光体験をして、次の旅行は根室地域が選択肢に入っていないことが想像できる。したがって、道外訪問客、夏季訪問客に対しては、“また根室地域に訪問したい”と思ってもらうこと、さらに夏季訪問客に対しては、冬季の観光コンテンツの魅力を訴求し、“冬季にも訪問してみたい”と思ってもらうことがキーポイントとなる。そのためには、既存の観光コンテンツを周知することや新しい観光コンテンツの開発、さらにリピーターに至らなかった訪問客にその要因を聴取して、改善を図ることが必要と考えられる。

一方、道内訪問客、冬季訪問客は「自然やアクティビティ、アウトドアを楽しむ」傾向が高くなっている。道内訪問客には「できるだけ費用を抑える」、冬季訪問客には「その日その日で行動を決める」傾向が高くなっている。したがって、道内訪問客に対しては、コストパフォーマンスを重視した観光コンテンツの開発や宿泊施設の設置、冬季訪問客に対しては、複数の観光コンテンツを組み合わせたプランを提案し、宿泊の長期化を促すことがキーポイントになると考えられる。

新型コロナウイルス感染症の影響も考えられるが、根室地域訪問客の宿泊日数の短期化、訪問人数の少人数化が課題として表れている。居住地や訪問時期に合わせたサービスを提供することによって、課題を解決し、根室地域の観光振興に結び付けていくことが重要と考えられる。

※本調査は、根室地域を観光目的で訪れた登録モニター500人、空港、道の駅での聞き取り調査126人、宿泊施設における留置調査65人の合計691人を全体（根室地域観光客）としていることを念頭に置いて、結果を解釈する必要がある。

(3) GPSによる旅行者の移動経路等の分析

① 分析内容

ア) 分析手段

以下の方法により、根室地域の旅行者について、公共交通機関の利用などのGPSデータ等の分析を行った。

◆利用スマートフォン用アプリケーション：

『ALK00（あるこう）by NAVITIME』（ウォーキング・歩数計アプリ）（GPSデータ）

◆対象年：2020年・2021年（暦年）

◆対象：①道内居住者（土日祝日・年末年始、お盆等・祝日との間となる飛び石連休の平日）

②道外居住者（全日）

◆取得位置情報（GPSデータ）：

同一メッシュ内（1 Km）に30分以上連続した滞在を1カウント

◆公共交通利用の判定：

(i) 鉄道

株式会社ナビタイムジャパンが独自に整備した鉄道路線データに対して、当該エリアの鉄道路線の10m以内で測位されたGPSのうち、速度が30～120km/時で移動したGPSが4点以上存在するデータを鉄道利用と判定した。

(ii) 路線バス

株式会社ナビタイムジャパンが独自に整備したバス路線データを用い、任意のバスの運行に対して、後述する条件を満たすバス停が4個以上存在するデータをバス利用と判定した。（条件：あるバス停にバスが発着する時刻の前後3分以内にそのバス停から100m以内で測位される）

イ) 分析結果

(i) 根室地域における旅行者数

根室地域を訪れた旅行者は、道内客がわずかに増加、道外客はわずかに減少し、全体ではわずかに減少した。

属性	2020 年		2021 年		滞在者数の差 (2021-2020)	
	旅行者数	滞在者数	旅行者数	滞在者数	人数	ポイント差
道内	553	400	564	403	3	-0.8%
道外	249	190	240	184	-6	0.4%
道内+道外	802	590	804	587	-3	-0.6%

図表1-3-1 根室地域における道内外別 旅行者数、滞在者数

(ii) 根室地域における月別旅行者数

2021年に根室地域を訪れた道外旅行者は、50代、60代、70代の順に多かった。また、全道と比較すると20代の割合が高かった。

性別では男性が8割以上となっており、全道と比較しても男性の割合が高かった。

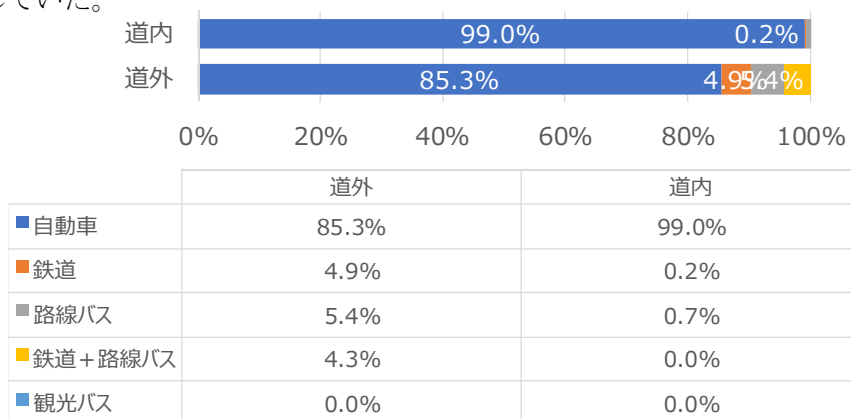


図表1-3-2 年代別旅行者数（不明を除く）2021年

1. 根室地域における周遊観光に向けた基礎調査

(iii) 旅行者の移動手段

根室地域内の移動手段は自動車ほとんどだが、道内居住者に比べ道外居住者の方が公共交通機関を利用している割合が高い。2021年では道外居住者の約15%が鉄道や路線バスを利用していた。



図表1-3-3 根室地域におけるアプリ利用者の移動手段 2021年

(iv) 路線バスを移動手段とする旅行者の移動経路

2020年の道外旅行者は道内旅行者と比較して広い範囲で測位されており、知床半島の北側等にも周遊している様子が見られた。

2021年も同様の範囲での周遊が見られたほか、航空機を利用したと思われる旅行者も見られた。次項の鉄道利用者と比較すると、より地方部での周遊が見られた。

2020年の道内旅行者は比較的狭い範囲で周遊している様子が見られた。2021年の道内旅行者についても2020年と同様の傾向だが、納沙布岬周辺に周遊する様子が見られた。



路線バスを移動手段とする
道内旅行者の移動経路 (2020年)



路線バスを移動手段とする
道外旅行者の移動経路 (2020年)



路線バスを移動手段とする
道内旅行者の移動経路 (2021年)



路線バスを移動手段とする
道外旅行者の移動経路 (2021年)

1. 根室地域における周遊観光に向けた基礎調査

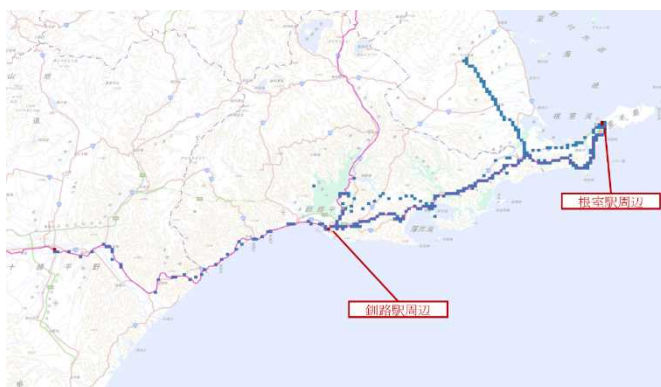
(v) 鉄道を移動手段とする旅行者の移動経路

2020年の道外旅行者については、旭川地域や函館駅周辺まで周遊している移動が見られ、根室地域を含めた北海道内を広く周遊している訪問者も見られた。

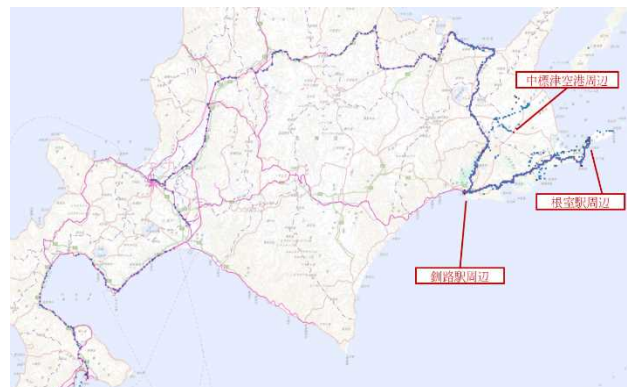
2021年の道外旅行者については、2020年で見られた傾向のほか、帯広方面への周遊も見られた。

2020年の道内旅行者については、釧路や中標津方面から根室地域への移動が多かったが、わずかながら帯広からの移動も見られた。

2021年の道内旅行者については、札幌、帯広、釧路から根室地域への移動が見られた。



鉄道を移動手段とする
道内旅行者の移動経路（2020年）



鉄道を移動手段とする
道外旅行者の移動経路（2020年）



鉄道を移動手段とする
道内旅行者の移動経路（2021年）



鉄道を移動手段とする
道外旅行者の移動経路（2021年）

1. 根室地域における周遊観光に向けた基礎調査

(vi) 鉄道＋路線バスを移動手段とする道外旅行者の移動経路

2020年の道外旅行者は根室地域の他帯広駅周辺でも測位されており、周遊している様子が見られた。

バス路線については、厚床線、納沙布線、川湯線を利用したと見られた。

2021年には網走方面を周遊する様子も見られた。バス路線については、納沙布線、阿寒本町線、釧路空港連絡バス、西浜線を利用したと見られた。

なお、道内旅行者については鉄道と路線バスの両方を利用した旅行者は見られなかった。



鉄道＋路線バスを移動手段とする道外旅行者の移動経路（2020年）



鉄道＋路線バスを移動手段とする道外旅行者の移動経路（2021年）